

いいだ未来デザイン2028戦略計画

【2025(令和7)年度】

長野県飯田市
2025(令和7)年4月

目 次

いいだ未来デザイン2028後期計画の「年度戦略」について	1
市の人口について	1
戦略計画の考え方	7
戦略の推進について	9
DXの推進について	9
SDGsの推進について	9
1 市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる	11
1-① 20地区の基本構想・基本計画の実現に向けた地域主体の自治活動の推進	14
1-② 持続可能な地域づくりに向けた次代を担う人材を育む学習活動の支援	14
1-③ 「結い」による移住定住の推進と協働による関係人口の創出	15
1-④ ムトスの精神による市民活動や公益型事業(地域課題解決型事業)の輪を広げる	15
1-⑤ 国籍、性別や世代などの違いによる多様な価値観を互いに認め合う地域社会をつくる	16
1-⑥ 市民による文化芸術の創造と生涯にわたってのスポーツの振興	16
1-⑦ 中心市街地の賑わいのあるまちづくり	17
1-⑧ 地域への関心を高め、効果的な情報発信	17
2 人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる	19
2-① 日常の地域自治活動を通じた地域住民の顔の見える関係づくりと助け合いによる地域防災力の強化	20
2-② 市民一人一人の防災意識の向上、助け合いによる地域防災力の強化とそれらを支える公助の取組の推進	20
2-③ 飯田市消防力(消防団)整備計画に基づく地域消防力の維持・向上	20
2-④ 犯罪被害防止と消費者トラブルの未然防止	21
2-⑤ 安全・安心な暮らしを支える社会基盤の長寿命化対策と強靱化、生活道路の安全対策をはじめとする交通事故抑止	21
3 ここ 飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる	23
3-① 安心して子ども・若者が意見表明、話し合いの場に参加することができ、その意見が反映できる仕組みづくり	25
3-② 妊娠、出産、子育てまでの効果的で途切れない相談・支援	25
3-③ 地育力を活用し、地域の自然や文化、地域との関わりにより、健やかで心豊かな育ちを支える	26
3-④ 子どもが主体的に学ぶ力を育む	27
3-⑤ 学校の新たな枠組みとして学園構想の推進	27
3-⑥ 発達特性のある子どもなど困難を抱える子どもとその家庭への相談支援や教育環境の構築	28
3-⑦ 若者、子育て家庭への経済的支援	28
3-⑧ 子どもが安全・安心に生活できる環境整備	29
3-⑨ 地域の高等教育環境の充実	29

4	自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる	31
4-①	環境意識を高め、行動変容へつなげる「うごくる。」の充実	32
4-②	新たなリサイクルの研究などによる3Rのさらなる推進と資源循環の研究	32
4-③	省エネルギーの促進と地域産再生可能エネルギーの創出、利活用の推進	32
4-④	生物多様性と自然環境の保全推進	33
4-⑤	デジタル技術を活用した3R啓発とエネルギーなどの見える化についての研究	33
5	誰もが多様な働き方で活躍でき、次世代につながる魅力ある産業をつくる	35
5-①	地域産業を支える担い手・企業人材の育成・確保と多様な働き方・労働力補完に対する支援	37
5-②	地域産業の高付加価値化・ブランド化と環境分野をはじめとする新産業への挑戦を支援	38
5-③	多様な主体が参画した取組によるサステナブルツーリズムの推進	39
5-④	地域内経済循環の推進	40
5-⑤	企業誘致、オフィス誘致の推進	41
6	誰もが生涯を通じてその人らしく暮らすまちをつくる	43
6-①	地域福祉の推進	44
6-②	福祉まるごと相談窓口の充実化と相談支援体制の強化	44
6-③	障がい福祉の推進	45
6-④	全世代に向けた健康づくり	45
6-⑤	介護予防の意識醸成	46
6-⑥	地域における高齢者の支援体制の整備	46
6-⑦	地域医療への支援	47
6-⑧	介護人材確保に向けた支援	47
7	リニア・三遠南信道時代に向けたまちの基盤をつくる	49
7-①	リニア・三遠南信道時代を見据えた各種土地利用計画の見直し	49
7-②	広域的道路ネットワークの強化及び拠点間道路ネットワークの整備推進	50
7-③	リニア駅前広場の一部供用に向けた整備推進	50
7-④	リニア・三遠南信道に対する機運醸成を図るための市民への情報発信	50
7-⑤	持続可能な地域公共交通の構築と次世代モビリティやリニア二次交通の検討	51

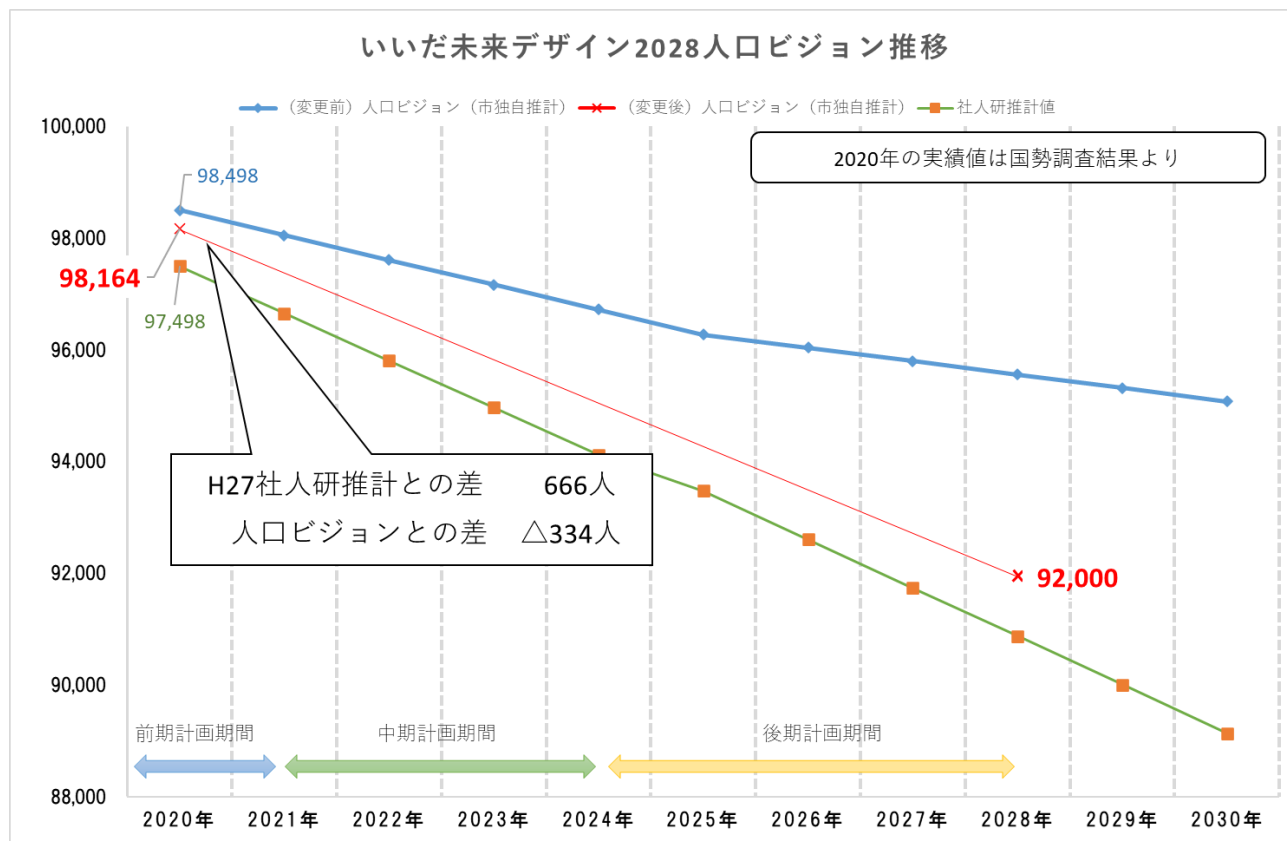
いいだ未来デザイン 2028 後期計画の「年度戦略」について

年度戦略は、後期計画4年間(2025(令和7)年度から 2028(令和10)年度まで)の基本的方向に基づき、戦略的に取り組む7の基本目標それぞれの具体的な取組です。また、取組の進捗や社会情勢に随時対応し有効性を高めるため、戦略計画は年度ごとに見直していきます。

なお、後期計画においては、中期計画に引き続いて国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づく総合戦略を一体化した構造とし、地域課題となっている人口減少及び地域経済の縮小を克服するための施策を位置付け、地方創生を目指した取組を一層強化していきます。

市の人口について

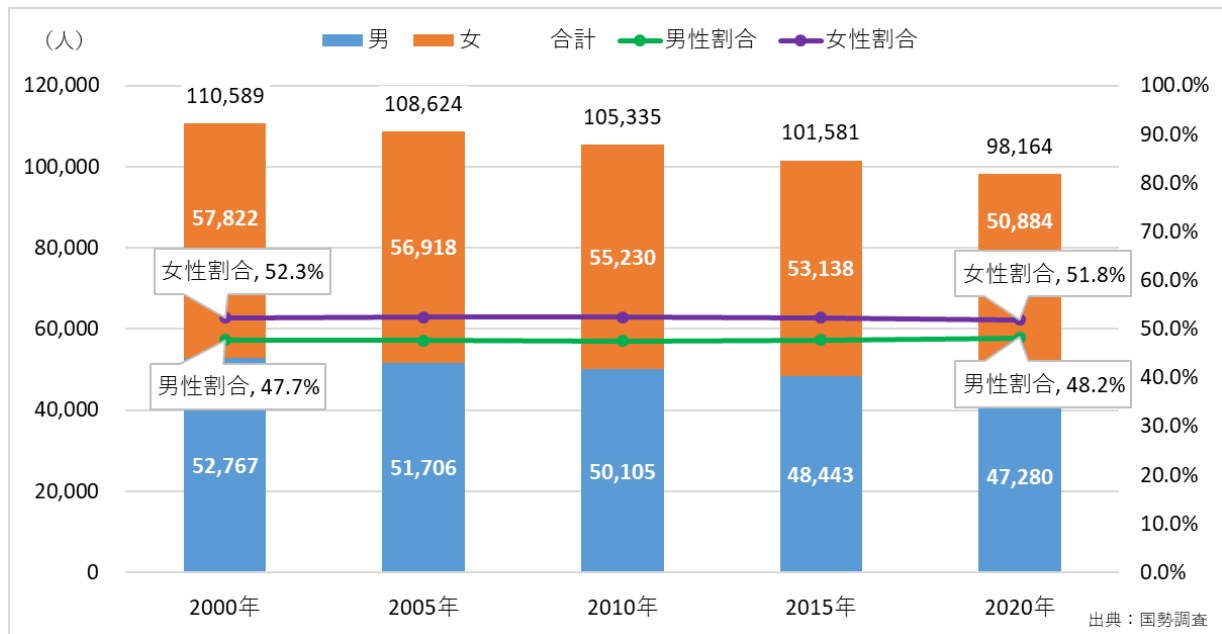
飯田市の人口ビジョンでは、2028 年の定住人口を約 92,000 人、休日滞在人口率をその 1.10 倍とし交流人口の増加を目指すことを掲げています。この目標を達成するため、エス・バードでの地域産業の高付加価値化や人材育成の機能の強化、結いターン移住定住推進室の設置による相談者対応の強化、小中連携・一貫教育の推進とICTを活用した教育課題対応、人形劇を通じた国際交流、若者の結婚支援や子育て・保育環境の充実、市民に寄り添う各種の保健福祉施策などを重点に展開してきました。また、リニア・三遠南信自動車道の開通を見据え、駅周辺の整備、二次交通の構築、良好な生活環境の保全にも取り組みました。これらの取組の結果、飯田市の総人口は、2020(令和2)年の国勢調査で 98,164 人となり、国立社会保障・人口問題研究所(以下、「社人研」という。)推計と比較して 666 人上回りましたが、人口ビジョンで展望した人口と比較して 334 人少ない状況となっています。今後も、新型コロナウイルス感染症感染拡大からの再興、世界に広がる地政学的リスクやDX社会の進展など、地域社会経済や私たちの暮らしを取り巻く環境の変化を見定めつつ、いかに人口減少速度を緩やかにするかという長期的な視点で、戦略的な取組を推進する必要があります。



1 人口推移

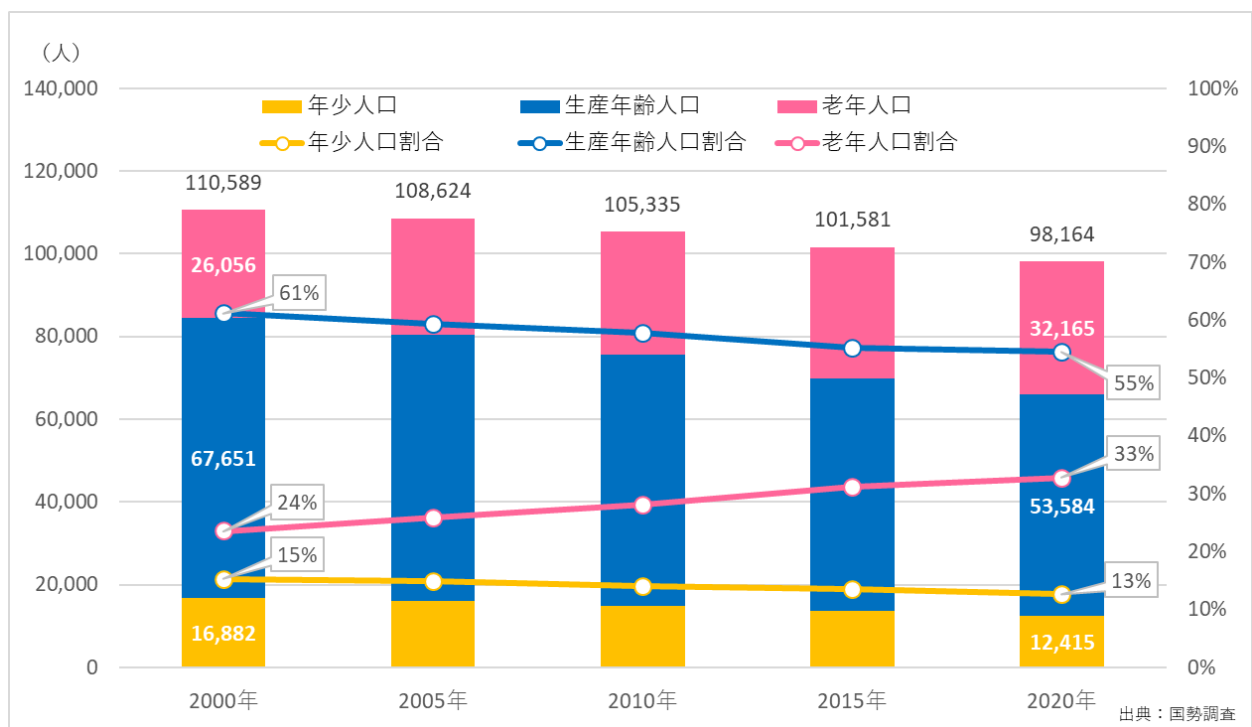
(1) 総人口

飯田市の人口は、2000 年の国勢調査を境に減少に転じ、2020(令和2)年の国勢調査において 10 万人を割りました。男女比に大きな変化はなく、女性が 50%強、男性が 50%弱で推移しています。



(2) 3区分人口

年少人口(0～15 歳)、生産年齢人口(16～64 歳)、高齢人口(65 歳～)の3区分人口については、2000 年からの 20 年間で高齢人口割合が9%増加(+6,109 人)し、生産年齢人口割合は6%減少(△14,067 人)、年少人口割合は2%減少(△4,467 人)しています。



2 自然動態について

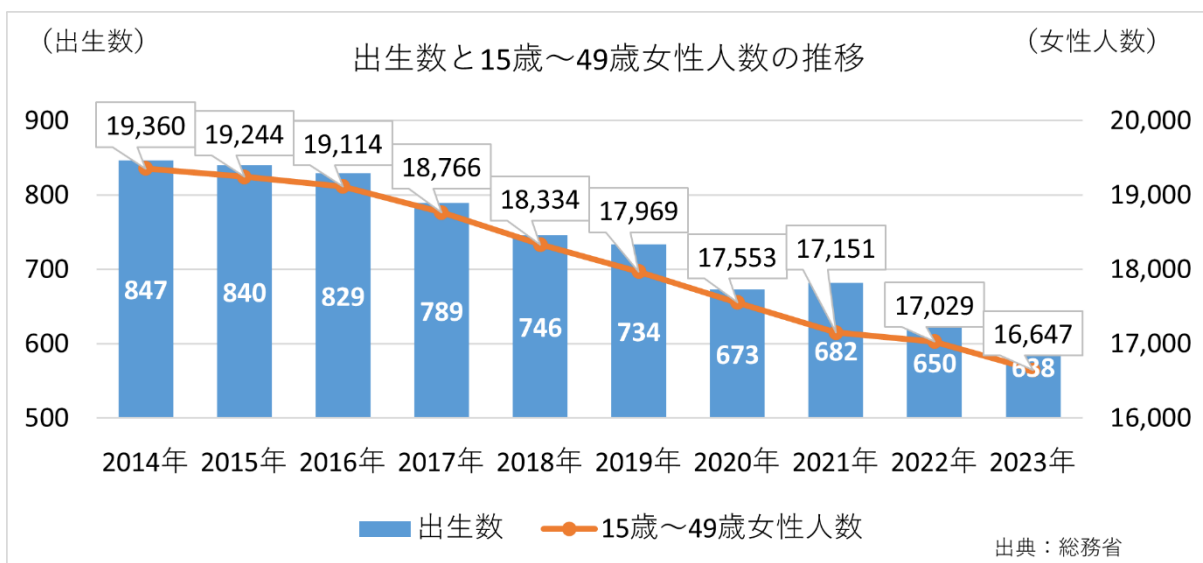
(1) 死亡数と出生数

死亡数の増加と出生数の減少により、人口の自然減(死亡数が出生数を上回る状態)が進んでいます。2014(平成 26)年からの 9 年間で死亡数は181 人増加し、出生数は 209人減少しており、死亡数の増加よりも出生数の減少が大きく、出生数の減少の方が自然減への影響が多いといえます。



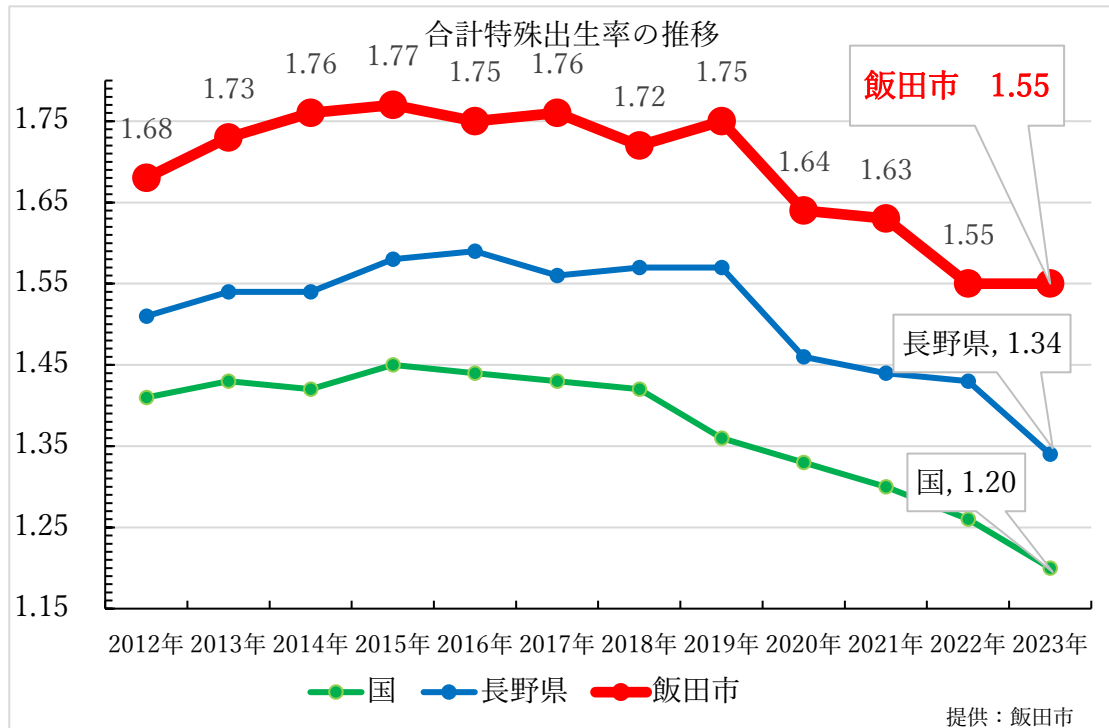
(2) 15 歳～49 歳女性人数

合計特殊出生率の算出に用いる 15 歳～49 歳の女性の人数は減少が続いており、それに伴い出生数も減少しています。



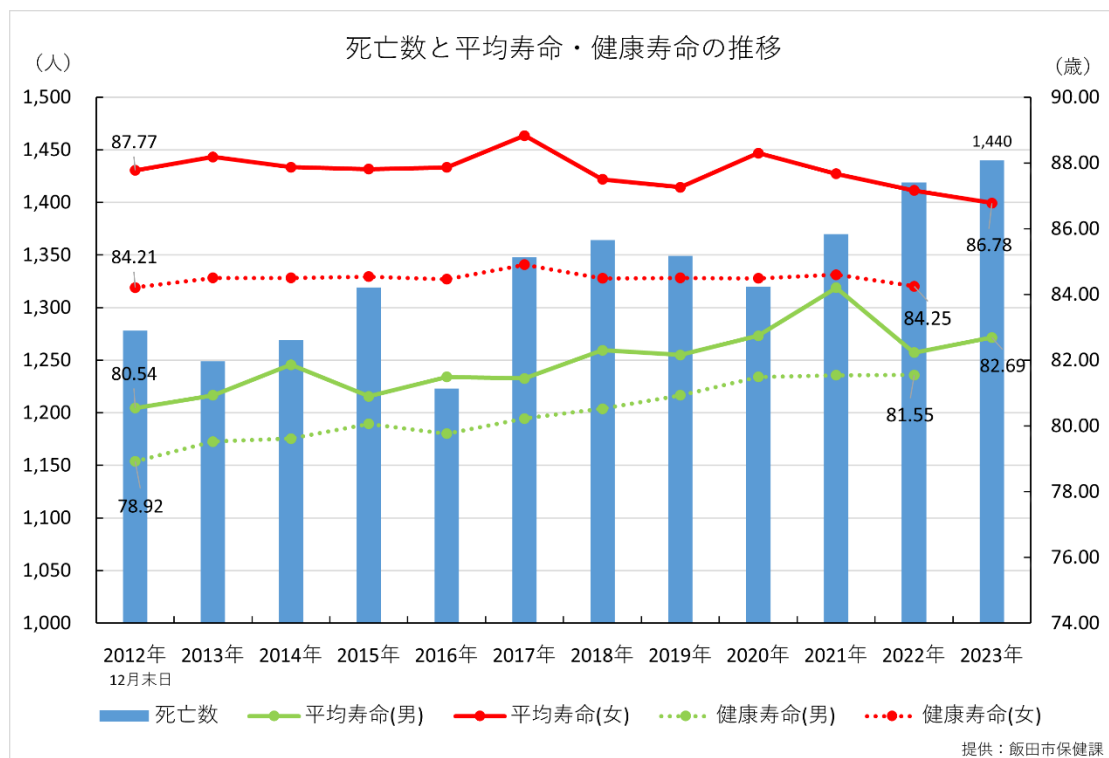
(3) 合計特殊出生率

近年、全国的に出生数の減少が続いており、飯田市においても出生数は減少しているものの、合計特殊出生率は国及び県に比べて高い水準を維持しています。



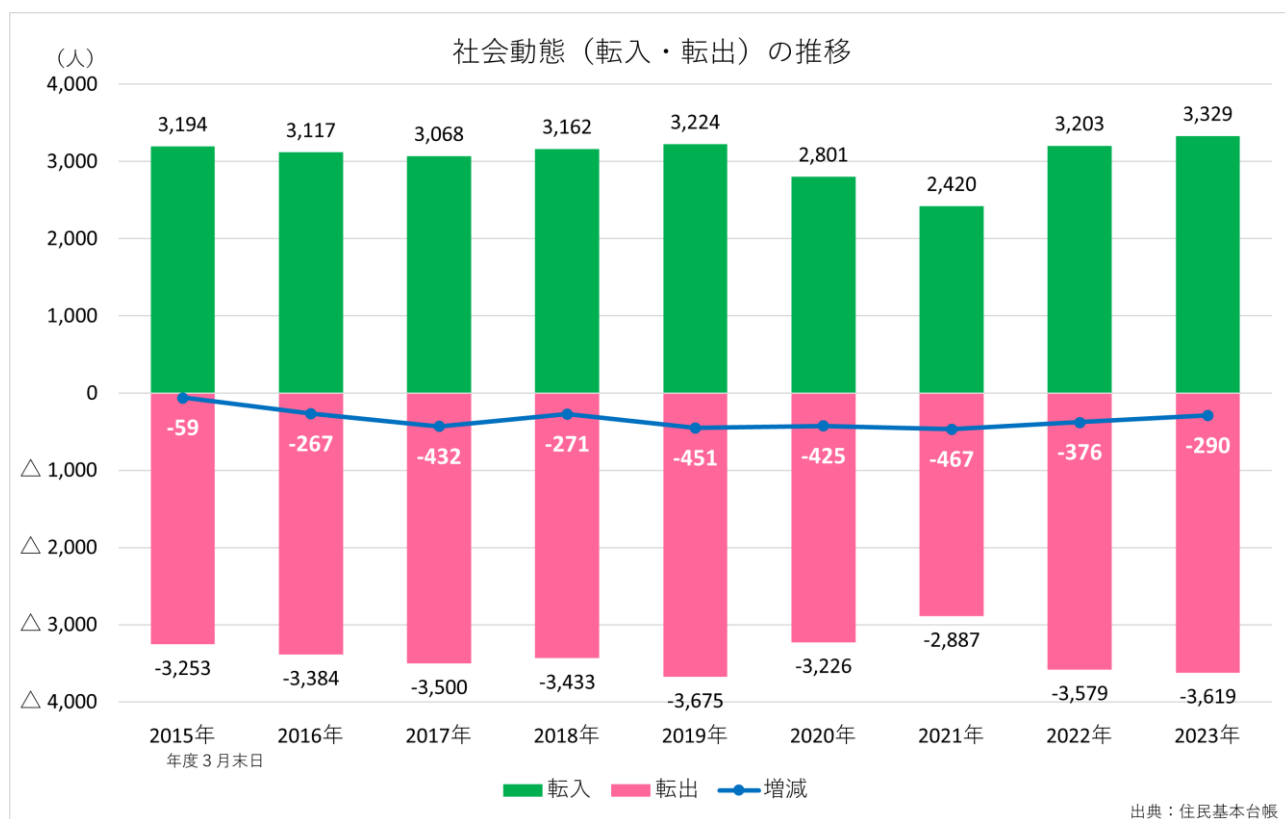
(4) 死亡数と平均寿命・健康寿命

2012 年以降、女性は平均寿命が 88 歳前後、健康寿命が 84 歳超で推移しているのに対し、男性は 2023 年の平均寿命が 82.69 歳(対 2012 年比 2.15 歳延伸)、2022 年の健康寿命が 81.55 歳(対 2012 年比 2.63 歳延伸)と、平均寿命・健康寿命ともに延伸しています。



3 社会動態について

2023(令和5)年は、2020(令和2)年に比して、転入数、転出数ともに増加し、転入者3,329 人に対し、転出者3,619 人となり、290 人の転出超過(社会減)となっています。



4 地区別人口について

2010(平成 22)年の時点で人口が 5,000 人を超える地区の人口推移は、ほぼ横ばいか微増減しています。一方、5,000 人を下回る地区の多くが減少傾向にあります。

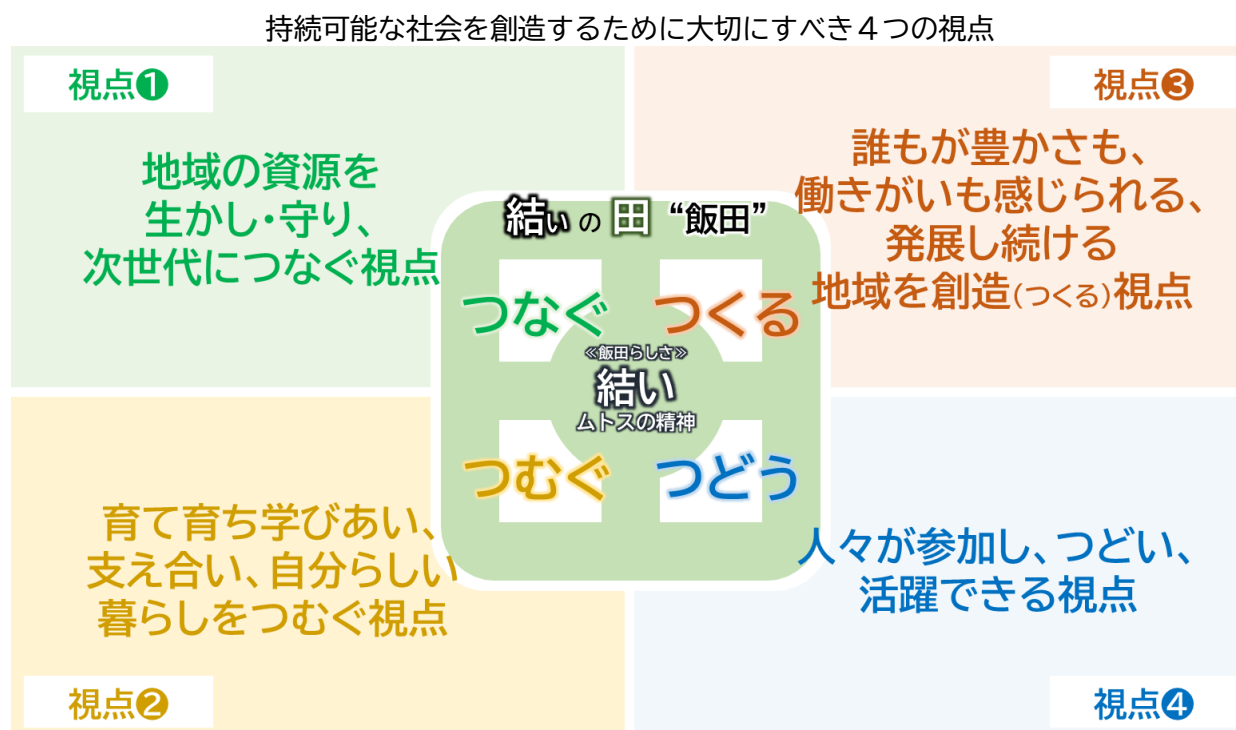
	2010年	2015年	2020年	5 年前 (2015年) からの人口増減率	10年前 (2010年) からの人口増減率
橋 北	3,404	3,173	2,860	90%	84%
橋 南	3,024	2,723	2,489	91%	82%
羽 場	5,349	4,966	4,889	98%	91%
丸 山	3,684	3,505	3,260	93%	88%
東 野	3,283	3,056	2,866	94%	87%
座光寺	4,586	4,382	4,196	96%	91%
松 尾	12,982	13,035	13,061	100%	101%
下久堅	3,118	2,946	2,651	90%	85%
上久堅	1,481	1,318	1,174	89%	79%
千 代	1,822	1,693	1,526	90%	84%
龍 江	2,998	2,831	2,600	92%	87%
竜 丘	6,803	6,724	6,559	98%	96%
川 路	1,978	1,921	1,937	101%	98%
三 穂	1,476	1,386	1,262	91%	86%
山 本	5,057	4,756	4,478	94%	89%
伊賀良	14,322	14,219	14,138	99%	99%
鼎	13,557	13,168	13,135	100%	97%
上 郷	14,139	13,891	13,534	97%	96%
上 村	507	413	351	85%	69%
南信濃	1,765	1,475	1,198	81%	68%
飯田市合計	105,335	101,581	98,164	95%	93%

出典：国勢調査

戦略計画の考え方

後期計画の策定においては、基本構想に掲げる8つのまちの姿の実現に向け、地域社会を取り巻く環境変化や社会変容を前提に、SDGsの考え方をベースとして、いいだ未来デザイン会議(以下「市民会議」という。)での協議に加え、飯田短期大学及び飯田コアカレッジの学生や市内高等学校の生徒と、持続可能な地域を創造していくために大切にすべき視点について協議を重ねました。その際の意見を踏まえ、基本目標を策定する際に共通して持つべき「持続可能な社会を創造するために大切にすべき4つの視点」を次の図のとおり決めました。

戦略計画では、後期計画を推進する具体的な取組として、4つの視点すべてをバランスよく考慮すること、多様な主体が連携し協働するとともに、事柄を多角的に捉え、横のつながりや他の事象への影響などを意識した統合的なアプローチにより、重点的な取組を実施していきます。更に、新たな働き方や学び方の確立に貢献するとともに、暮らす場所、働く場所の選択肢の幅を広げ、今後の成長分野ともなっているデジタル技術を、どこでも誰でもその利便性を享受することができるよう、あらゆる分野で活用していきます。



視点1 地域の資源を生かし・守り、次世代につなぐ視点

豊かな自然、河岸段丘に広がる田園風景や農ある暮らし、養蚕からはじまり裾野を広げ精密機械産業等を背景に技術を磨いてきた地場産業、守り受け継がれてきた風土、文化や伝統芸能など、当地域には、かけがえのない資源があり、私たちは、それらを活用し豊かさを享受してきました。しかし、環境問題や地政学的リスクに端を発する資源の高騰等に見られるように、経済や社会の発展を育んできた安定的な気候や環境は崩れ、資源の入手が困難さを増す中、今を生きる我々が享受してきた利益を、将来世代が得られなくなる事態が発生するリスクが高まっているといえます。こうした状況を捉え、今、この地域にあり、これまで先人達が培ってきたこの地域特有の資源を、地域外とのつながりなどこれまでにない掛け合わせや組み合わせで活用し磨き上げていくこと、また、それにより地域の資源を守り次世代につないでいく視点を持ちます。

視点2 育て育ち学びあい、支え合い、自分らしい暮らしをつむぐ視点

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、市民一人一人の行動、考え方や価値観を変容させるとともに、市民生活の不安定さを顕在化させました。また、社会的な潮流としての個人化が進行しているものの、真に個人の選択の自由が許容されない社会では、不寛容、排除、生きづらさを感じながら暮らして行かざるを得ない状況になってしまいます。

性別、年齢、障がいの有無、国籍等に関わらず、誰もがその存在を認められ、合理的配慮の下に、自らの可能性を追求できるよう、誰一人取り残さない包摂性をあらゆる取組の前提とし、主体である個人の視点を大切にできる「ひと」を中心にした地域社会を構築していくことが求められます。

個人の視点を大切に「ひと」中心の地域社会の構築に向けて、育てる人、教える人、施す人という一方通行の関係性ではなく、育ち合う、学び合う、支え合うという双方向の関係性や協働の関係性を構築する視点が必要であり、市民一人一人が、多面的な暮らしの要素をいくつもの繭から一本の美しい糸をつむぐように、個人の視点で統合し、自分らしい暮らしをつむいでいけるようにする視点を持ちます。

視点3 誰もが豊かさも、働きがいも感じられる、発展し続ける地域を創造(つくる)視点

地域経済の発展は、私たちの暮らしにおいて重要なことです。人口減少と少子高齢化の進行は、生産年齢人口の減少に留まらず、消費行動の縮小、生産の縮小につながる事が予想されます。また、リニア中央新幹線の開業時期が不透明化した影響で、当地域への投資が鈍化することも考えられます。こうした影響を可能な限り緩和し、女性や若者のチャレンジを応援できる環境を整備すること、エネルギーやデジタル分野などにおける新産業やイノベーションの創出により、豊かさを享受できる力強い地域経済を創造することが求められています。ただし、単に経済最優先ではなく、エシカル消費などの買う人の責任とつくる人の責任の両輪による循環型経済の構築に加え、働く人の視点を持つことが持続的な経済の発展に必要であると考えます。また、様々な担い手が不足している状況下では、今までの考え方に囚われることなく、仕組みを変えていく、社会を変革していくことで、地域社会の持続的な発展が可能になると考えます。

こうしたことから、地域の誰もが豊かさや働きがいを感じられることに加え、新たな仕組みに基づき、持続的に発展していくことができる地域を創造していく視点を持ちます。

視点4 人々が参加し、つどい、活躍できる視点

人口減少と少子高齢化の同時進行、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による交流の減少、価値観の多様化や個人化により、地縁を基盤とする助け合いなどの人と人のつながりは岐路に立っているといえます。結い、ムトスの精神、多様な主体の協働といった飯田らしい人と人のつながり方を学び直し、不断のつながり直し、知り合い直し(多面的につながっていくこと)を重ねるとともに、地に足の付いた無理のない持続可能な地域活動の在り方など新しい社会連帯の仕組みを模索し続ける必要があります。あわせて、若年層の交流人口・移住定住人口の増加に向けた新たな居住者を迎えやすい環境整備の観点からも、新しい参加の仕方、つどい方、活躍の仕方やその意義付けをしていく必要があります。

市民一人一人に役割があり、年齢、性別などに関わらず、頼りにされる、頼られる関係性の先に地域力が向上し、それに伴って助け合いによる防災力が向上すると考えられることから、誰もがこれまでとは違う仕組みやつながりの中で、楽しみながら参加し、つどい、活躍することができる地域づくりを進める視点を持ちます。

戦略の推進について

1 推進体制

- (1) 住民組織、産業界、高等教育機関、金融機関、労働団体、国・県等の行政機関及び各種団体等の多様な主体と連携しながら、取組を進めます。
- (2) 全庁体制で施策を多様な主体との協働により横断的かつ総合的に推進し、地区や分野別懇談会など市民からの意見も随時反映させながら推進していきます。

2 効果の検証

- (1) 総合戦略としての成果を客観的かつ定量的に測るため、重要業績評価指標を設定し、進行管理の中で合わせて評価を行います。
- (2) 外部評価を実施し、市民や議会、関係者からの意見を取り入れることで、より効果の高い取組へ改善していくPDCAサイクルを実施します。

DXの推進について

近年、生成AIの登場やIoT、ビッグデータの活用などのデジタル技術は、加速度的に進展しており、私たちの生活に深く浸透し大きな変化をもたらしています。特に、スマートフォンやインターネットの普及・利用は、コミュニケーションツールとしての機能だけでなく、様々な手続の窓口機能や金融決済の機能を担うなど日常生活に欠かせない社会インフラとなっており、デジタル技術の活用を前提とした社会への変革が始まっています。一方で、人口減少、少子高齢化により、労働生産力や地域の担い手の減少、経済規模の縮小など社会構造的な課題が顕著なものとなってきています。また、自治体においては、限られた職員数や財源の中で社会環境の変化に伴う市民からのニーズに対応し、効率的で質の高い持続可能な行政サービスの提供が求められています。

こうした地域社会の状況を踏まえ、DXの推進は、行政サービスの向上や市民生活のあらゆる分野に共通する取組であることから、各基本目標においてデジタル技術を活用した様々な課題解決、新たな価値やサービスを創出する戦略を組み立てるとともに、行政事務DX推進方針や新たに策定する地域DX推進の方針を定めたロードマップに基づいて全体の進行管理を行い、誰もがDXによる利便性や恩恵が受けられる持続可能な社会の構築に取り組みます。

SDGsの推進について

後期計画の策定に際しては、持続可能な社会を構築していくために大切にすべきことを、SDGsの考え方をベースとして、市民会議での協議を重ね、基本目標を策定する際に共通して持つべき持続可能な社会を創造するために大切にすべき4つの視点を定めました。

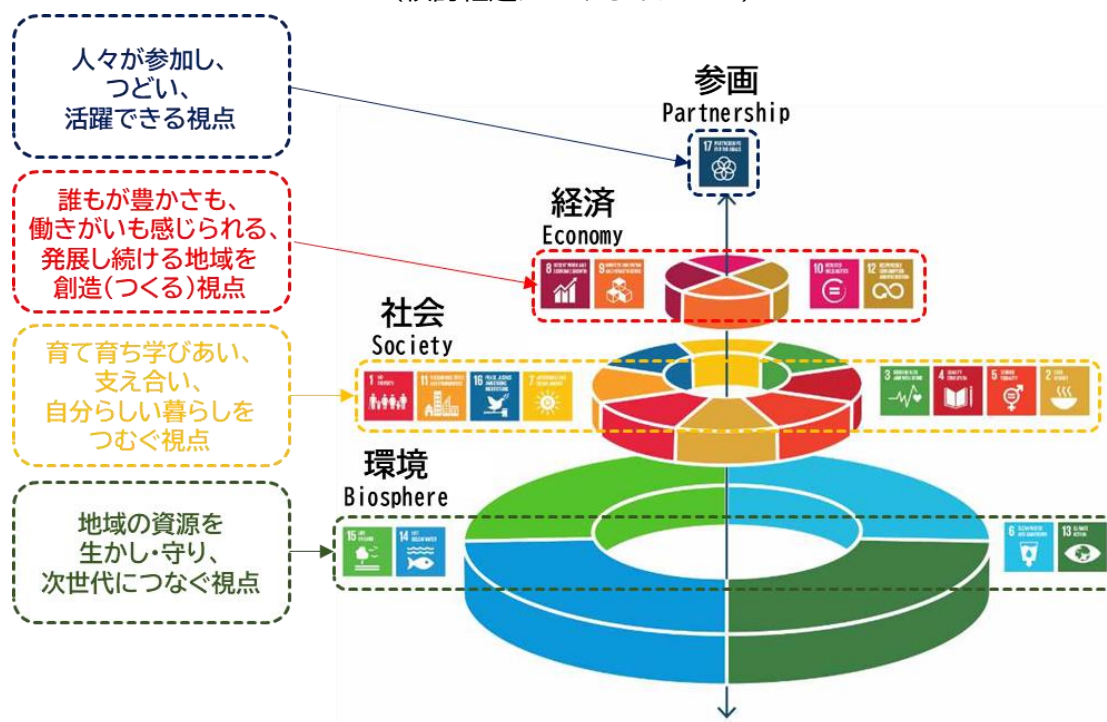
この4つの視点は、SDGsを構成する環境(Biosphere)・社会(Society)・経済(Economy)・参画(Partnership)の4つの要素及び考え方を、飯田市らしい言葉にローカライズしたものとして位置づけることができます。

また、SDGsの17の目標は、「貧困をなくそう」からはじまり「すべての人に健康と福祉を」、「質の高い教育をみんなに」、「住み続けられるまちづくりを」など、市民生活とも関わりが深い目標であり、市民や事業者、行政との協働に向けた体制づくり、あるいは、情報や課題の共有手段として活用していくことが可能なものです。さらに、17の目標は相互に関連し、持続可能な社会の創造につながることから、SDGsを、市の各担当課等で実施している施策・事業間の横断的連携を図ったり、施策・事業の目標の共有に活用することが可能なものです。

後期計画においても、中期計画におけるSDGsの推進の考え方を受け継ぎ、国際目標であるSDGsを、

市民・事業者・行政などそれぞれが、グローバルな問題を地域の視点から捉え、あるいは、地域の問題をグローバルな視点から捉える機会となること、そしてSDGsを共通言語として様々な立場の人が連携し、様々な分野で持続可能なまちづくりを推進していくことを目指します。

持続可能な社会を創造するための4つの視点とSDGsのウェディングケーキモデル
(検討経過におけるイメージ)



※留意事項

SDGsのウェディングケーキモデルの考え方を飯田市版にローカライズしたため、視点に含まれる主な内容で判断しており、4つの視点の内容とSDGsの内容とが完全に一致するものではありません。

出典：The SDGs wedding cake, Stockholm Resilience Center

いいだ未来デザイン2028後期計画に定める基本目標(案)とSDGsの連携

基本目標 1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる	1 貧困をなくそう, 4 質の高い教育をみんなに, 5 ジェンダー平等を實現しよう, 8 働きがいも 経済成長も, 10 公平な社会を築こう, 11 住み続けられるまちづくりを, 16 平和と公正をすべての人に, 17 パートナリシップで目標を達成しよう
基本目標 2	人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる	1 貧困をなくそう, 2 健康をこころに, 3 すべての人に健康と福祉を, 5 ジェンダー平等を實現しよう, 6 安全な水とトイレを世界中に, 11 住み続けられるまちづくりを, 13 気候変動に具体的な対策を, 16 平和と公正をすべての人に, 17 パートナリシップで目標を達成しよう
基本目標 3	ここ飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる	1 貧困をなくそう, 2 健康をこころに, 3 すべての人に健康と福祉を, 4 質の高い教育をみんなに, 5 ジェンダー平等を實現しよう, 8 働きがいも 経済成長も, 11 住み続けられるまちづくりを, 13 気候変動に具体的な対策を, 16 平和と公正をすべての人に
基本目標 4	自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる	4 質の高い教育をみんなに, 6 安全な水とトイレを世界中に, 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに, 9 産業と雇用創出の未来をつくる, 11 住み続けられるまちづくりを, 12 つくばる資源をもう一度つくる, 13 気候変動に具体的な対策を, 14 海の豊かさを守ろう, 15 陸の豊かさも守ろう, 17 パートナリシップで目標を達成しよう
基本目標 5	誰もが多様な働き方で活躍でき、次世代につながる魅力ある産業をつくる	1 貧困をなくそう, 2 健康をこころに, 4 質の高い教育をみんなに, 5 ジェンダー平等を實現しよう, 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに, 8 働きがいも 経済成長も, 9 産業と雇用創出の未来をつくる, 10 公平な社会を築こう, 12 つくばる資源をもう一度つくる, 15 陸の豊かさも守ろう, 17 パートナリシップで目標を達成しよう
基本目標 6	誰もが生涯を通じてその人らしく暮らすまちをつくる	1 貧困をなくそう, 2 健康をこころに, 3 すべての人に健康と福祉を, 4 質の高い教育をみんなに, 5 ジェンダー平等を實現しよう, 8 働きがいも 経済成長も, 11 住み続けられるまちづくりを, 16 平和と公正をすべての人に
基本目標 7	リニア・三遠南信道時代にに向けたまちの基盤をつくる	5 ジェンダー平等を實現しよう, 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに, 8 働きがいも 経済成長も, 9 産業と雇用創出の未来をつくる, 11 住み続けられるまちづくりを, 13 気候変動に具体的な対策を, 15 陸の豊かさも守ろう, 17 パートナリシップで目標を達成しよう

基本目標 1

市民が将来にわたり地域に 誇りと愛着を持てるまちをつくる

関係するSDGs



戦略（考え方）

- ◆ 20地区の基本構想・基本計画の実現に向けて、地域のつながりを基盤にした持続可能なまちづくりの取組を支援します。
- ◆ 地域の問題や関心事について、学習活動や実践活動など住民が主体的に課題解決に挑戦できる環境を整備し、地域を支える多様な人材の育成につなげます。
- ◆ 未来の担い手であるこどもたちにとって「将来も住み続けたいまち」であるため、地域全体でこどもを育む様々な取組を行います。
- ◆ 20地区がそれぞれの多様な地域資源を活用し、魅力ある地域づくりに取り組むことで、関係人口の創出・拡大から移住定住を目指す「20地区田舎へ還ろう戦略」を、地域と行政が協働して進めます。
- ◆ 移住定住の推進に向けて、まちづくりの原動力となる若者に「選ばれる地域」となるための様々な取組を全市的に展開します。
- ◆ ムトスの精神による市民活動の輪を広げ、市民活動団体やNPO法人等による市民や地域が元気になる取組を支援します。
- ◆ 国籍、性別や世代などの違いによる多様な価値観を「豊かさ」として生かし、共に支え合い、共に生きるために、お互いに理解し合う場や、多様な活動を支援します。
- ◆ 伝統文化や人形劇など文化の継承と発展、新たな文化を創造する集いの場としての文化会館の整備に向けた取組、生涯にわたってスポーツに親しむことのできる環境づくりを進めます。
- ◆ 歴史と魅力ある施設や空間を生かし、多様な主体と連携・協働しながら、りんご並木を軸としたまちの賑わいづくり、歩いて楽しめるまちなかづくりを進めます。
- ◆ 市民や事業者と共に地域資源の価値を磨き、また、新たな魅力を創造し、共有・発信することにより共感を広げ、市のブランド化や認知度の向上を図ります。
- ◆ 20地区が行う地域振興等に係る取組に関し、デジタル技術を効果的に活用し、関係人口の創出・拡大を図ります。

進捗状況を確認するための指標、重要業績を評価するための指標

指標（単位）	基準値 （令和6年）	進捗状況			目標値 （令和10年）
		令和7年	令和8年	令和9年	
① これからも飯田市に住み続けたいと思う市民の割合（％）	85.9 （令和5年）				87.0
② 住んでいる地区や飯田市の自然、歴史、文化等に誇りや愛着がある人の割合（％）	75.4 （令和5年）				基準値以上
③ 飯田の「ムトス」という言葉を知っている市民の割合（％）	81.7 （令和5年）				86.0
④ 後期期間中にまちづくり委員会の組織・事業の見直しを行った地区数(地区)	20				20 （累計）
⑤ 自治活動組織への加入率（％）	67.7 （令和5年）				69.0
⑥ 後期期間中に組合加入促進コーディネーター活動により組合加入に至った件数(件)	190 （令和5年）				800 （累計）
⑦ 【小中学生】 地域や社会を良くするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合（％） 【高校生】 地域(社会)をよりよくするために、地域課題の解決に関わりたいと思う生徒の割合（％）	小学生 86.0 中学生 77.5 高校生 58.7				基準値以上
⑧ 【小中学生】 人の役にたつ人間になりたいと思う児童生徒の割合（％） 【高校生】 地域(社会)と自分のつながりや関係を意識しながら、自分の将来について考えることがある生徒の割合（％）	小学生 96.9 中学生 93.9 高校生 57.7				【小中学生】 基準値を維持 【高校生】 基準値以上
⑨ 新規移住相談件数(件)	263 （令和5年）				280
⑩ U I ターン移住者数(人)	127 （令和5年）				140
⑪ 20地区応援隊寄附件数(件)	55 （令和5年）				60
⑫ 市民活動・地域活動に参加している市民の割合（％）	69.0 （令和5年）				75.0
⑬ ムトス助成事業 支援件数(件)	42 （令和5年）				45
⑭ 他地域(外国人を含む)からの人を受け入れる市民の割合（％）	85.0 （令和5年）				92.0
⑮ 審議会委員等 女性登用者数割合（％） （第7次飯田市男女共同参画計画で令和9年度に目標とした数値）	30.8 （令和5年）				33.0 （令和9年）

指標（単位） 把握方法	基準値 (令和6年)	進捗状況			目標値 (令和10年)
		令和7年	令和8年	令和9年	
⑯ 文化活動（芸術の鑑賞など） を年1回以上行っている人の 割合（％）	59.1 (令和5年)				65.0
⑰ 週1回以上スポーツに親しむ 成人の割合（％）	53.9 (長野県61.2) (令和5年)				長野県値以上
⑱ 運動・スポーツをする以外 に、観たり、大会運営等に関 わっている人の割合（％）	54.4 (令和5年)				基準値を維持
⑲ 歩行者・自転車通行量(人)	5,950				6,350
⑳ 市営駐車場利用台数(台)	371,597 (令和5年)				400,000
㉑ 飯田市ブランド推進係 X フォロワー数(フォロワー)	4,625 (令和5年)				7,000
㉒ 飯田プロモーションインスタ グラムフォロワー数(フォロ ワー)	931				2,000

小戦略（具体的な取組）及び戦略的事務事業

小戦略 ①	20地区の基本構想・基本計画の実現に向けた地域主体の自治活動の推進
(1)	20地区基本構想・基本計画の実現に向けた地域主体の取組を自治振興センターを中心に支援します。
(2)	地域を取り巻く環境や時代の変化に対応していくため、各地区が行う自治活動組織の改革改善、事業の見直しなどの取組を支援するとともに、ゆるやかなつながりの仕組みを検討します。
(3)	中山間地域が元気であり続けるための農村起業家の育成や地域おこし協力隊による活動の支援などの取組を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	地域自治活動支援事業	地域自治振興課	115,070	基本目標2小戦略①
(3)	中山間地域振興事業	結いターン 移住定住推進課	61,620	
(3)	遠山郷振興事業	結いターン 移住定住推進課	12,323	
		計	189,013	

小戦略 ② 持続可能な地域づくりに向けた次代を担う人材を育む学習活動の支援

- (1) 住民が地域の自然、歴史、文化などを知り、理解を深める学習や地域の課題意識や関心事に応える学習などによる、主体的、協働的、探究的で多様な学びや実践を支援します。
- (2) キャリア教育推進協議会や、庁内横断的な連携会議を開催し、こどもや若者の生きる力を育むことや、未来の地域の担い手となる人づくりの大切さを共有して、地育力を活用したみらい創造教育に取り組めます。
- (3) 大学の研究者などが持つ専門的な知見を生かして市民が地域の資源や特徴を見つめ直して学ぶ機会を設け、地域が持つ価値や魅力の再発見、再認識につなげます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	歴史研究所事業	歴史研究所	22,199	
(1)	恒川遺跡群保存活用事業	文化財保護活用課	132,483	
(1)	飯田古墳群保存活用事業	文化財保護活用課	3,643	
(1)	多様な学習交流支援事業	公民館	13,121	基本目標2小戦略① 基本目標3小戦略③
(1)	図書館事業	中央図書館	1,857	
(2)	高校生等次世代育成事業	公民館	9,130	基本目標3小戦略①
(2)	小中学校キャリア教育推進事業	学校教育課	5,266	基本目標1小戦略⑦ 基本目標3小戦略③
(2)	地育力向上連携推進事業	生涯学習 ・スポーツ課	4,928	基本目標3小戦略③
(3)	美術博物館展示公開事業	美術博物館	19,149	
(3)	大学とのネットワーク構築事業	大学誘致連携 推進室	21,244	基本目標3小戦略⑨
		計	233,020	

小戦略 ③ 「結い」による移住定住の推進と協働による関係人口の創出

- (1) 対面やオンラインによる情報提供と相談支援を行い、人と人、人と地域をつなぎ、移住者の増加につなげます。
- (2) 事業者及び住民と連携し、「仕事を知り、人に触れ、地域に関わる」結いターンシップ事業を実施します。
- (3) 地域、事業者等と連携し、空き家を活用するなど移住者の住まいの確保を支援します。
- (4) 移住コンシェルジュや地域住民と連携し、全市的に移住者の受入れと定住に向けた暮らしの支援を行います。
- (5) マッチングシステム、SNS等による情報発信力の強化を図り、「20地区田舎へ還ろう戦略」と連動して、地域の人との出会いや関係性を深める取組を進めます。
- (6) 官民連携による地域課題の解決に向けた取組により、都市部の若者と地域住民の交流による関係人口の創出につなげるとともに、地域プレイヤーを育成します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3) (4)(5)(6)	移住定住推進事業	結いターン 移住定住推進課	28,058	
(3)	総合的な空き家対策事業	結いターン 移住定住推進課	18,165	
(5)	20地区田舎へ還ろう戦略支援事業	地域自治振興課	7,803	
		計	54,026	

小戦略 ④ ムトスの精神による市民活動や公益型事業(地域課題解決型事業)の輪を広げる

- (1) 市民が地域を自らより良くするために行う市民活動、地域や生活課題に密着した起業、NPO法人等の活動を支援するため、ムトスぷらざを活動支援の拠り所として、必要な情報の収集や発信、相談対応、研修会などを実施します。
- (2) 多様な活動を促進するため、既存の人材や研修会、支援組織、ネットワーク等と連携しながら、地域全体で支える体制づくりを進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	市民協働推進事業	共生・協働推進課	13,012	基本目標1 小戦略⑤
(1)(2)	多様性社会推進事業	共生・協働推進課	13,107	基本目標1 小戦略⑤
		計	26,119	

小戦略 ⑤	国籍、性別や世代などの違いによる多様な価値観を互いに認め合う地域社会をつくる
(1)	性別による固定的な役割分担意識の解消に向けて、男女が共に助け合う生活や飯田の魅力、子育て環境を学び、自分の生き方を考える機会をつくるため、若い世代を対象にしたライフデザインセミナーを行います。
(2)	事業所等で働く女性が、職場や生活全般も含めた多様な経験や能力を再認識し、生きがいをもって働くことができるように、交流会や講座、相談対応等を行います。
(3)	性別による格差のない地域社会を目指し、女性の活躍や多様な生き方や働き方を促進するため、女性の起業支援や働く女性のための交流会を通し、学びやつながりの輪を広げます。また、飯田市女性団体連絡協議会等への活動支援を行います。
(4)	多様な地域活動の支援に向けて、各活動の情報収集と発信を行うとともに、協働が生まれる交流の場づくりや、活動の継続に向けた相談対応等を行います。
(5)	健康寿命の延伸や人口減少社会において、シニア世代の経験が生かされ、世代間の相互理解が生まれるよう、多様な世代を対象に各団体に必要な情報や人をつなげる拠り所としての支援体制づくりを進めます。
(6)	人権意識を高める啓発活動を関係組織とともにを行います。
(7)	外国人住民が安心して日常生活を送れるよう、交流等を通じた相互理解やコミュニケーション支援の場をつくりまします。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)(4) (5)(6)(7)	多様性社会推進事業	共生・協働推進課	13,107	基本目標1 小戦略④
(3)(4)(5)	市民協働推進事業	共生・協働推進課	13,012	基本目標1 小戦略④
		計	26,119	

小戦略 ⑥	市民による文化芸術の創造と生涯にわたってのスポーツの振興
(1)	いいだ人形劇フェスタをはじめとして、保育園や小学校での人形劇の巡回公演、学校人形劇への人形製作や演技指導、伝統人形浄瑠璃の保存や継承のための活動、人形劇文化活動についての情報発信など市民の関わりが活発になるよう支援します。
(2)	オーケストラと友に音楽祭や伊那谷文化芸術祭など多様な舞台芸術を鑑賞できる機会をつくるとともに、市民が取り組む舞台芸術の創造活動や小中学校で行う舞台芸術鑑賞事業を支援します。
(3)	新文化会館の基本構想の実現に向けて、建設候補地の選定を行うとともに基本計画づくりを進めます。また、検討状況をさまざまな手段で市民の皆さんへお伝えします。
(4)	多くの市民がスポーツに触れる機会を提供するとともに、スポーツ習慣の定着に取り組まします。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	人形劇のまちづくり事業	文化会館	55,601	
(2)	文化会館文化芸術事業	文化会館	21,315	
(3)	文化施設整備事業	新文化会館整備室	8,947	
(4)	市民スポーツ推進事業	生涯学習 ・スポーツ課	7,309	
(4)	競技スポーツ振興支援事業	生涯学習 ・スポーツ課	8,389	
(4)	体育施設等維持管理・整備事業	生涯学習 ・スポーツ課	762,666	
(4)	小学校施設改修事業	生涯学習 ・スポーツ課	867,026	基本目標3 小戦略⑧
(4)	中学校施設改修事業	生涯学習 ・スポーツ課	213,130	基本目標3 小戦略⑧
		計	1,944,383	

小戦略 ⑦ 中心市街地の賑わいのあるまちづくり

- (1) 中心市街地の賑わい・交流の創出に向けたイベント、空き店舗を活用した新規出店等を支援するとともに、りんご並木の社会実験を踏まえたまちなかづくりやりんご並木三連蔵の今後の保存・活用の検討を多様な主体と進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	りんご並木活性化事業	商業観光課	7,444	
(1)	中心市街地活性化推進事業	商業観光課	14,959	
(1)	にぎわい創出店舗活用事業	商業観光課	5,257	
(1)	小中学校キャリア教育推進事業	学校教育課	5,266	基本目標1 小戦略② 基本目標3 小戦略③
		計	32,926	

小戦略 ⑧ 地域への関心を高め、効果的な情報発信

- (1) 飯田の魅力が多くの市民に共有され、共感を得られるよう、市民一人一人が誇りや愛着を感じているモノ・コトをSNSを活用して見つけ合い、発信することで、地域外の方からも共感が得られるような取組を実施します。地域資源を組み合わせ、飯田のブランド力の向上につながる取組を支援するとともに、学生、市民や事業者との協働による情報発信を行います。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	IIDAブランド推進事業	広報ブランド推進課	7,233	
(1)	ふるさと飯田応援隊募集事業	広報ブランド推進課	268,947	
		計	276,180	

参考 デジタル技術を活用する事務事業（再掲）

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	備考
② (1)	恒川遺跡群保存活用事業	文化財保護活用課	
② (1)	飯田古墳群保存活用事業	文化財保護活用課	
③ (1)	移住定住推進事業	結いターン移住定住推進課	
③ (5)	20地区田舎へ還ろう戦略事業	地域自治振興課	

基本目標 2

人がつながり助け合い、社会基盤を強化して 安全・安心なまちをつくる

関係するSDGs



戦略（考え方）

- ◆ 安全・安心な暮らしの実現に向けて、人と人とのつながりを広めて「地域の力」を高めていくとともに、地域のことを地域で考える主体的なまちづくりを支援します。
- ◆ 「自助」の大切さを市民一人一人が認識できる取組を進めます。
- ◆ 災害発生に備えた環境整備をはじめ、防災学習や地震被害想定調査結果を踏まえた対策の検討など公助の取組を更に推進します。
- ◆ 地域とともにある消防団の組織体制を整備するとともに、消防力・防災力の維持・向上を図ります。
- ◆ 安心して暮らすために、日常における市民の防犯意識の高揚をはじめとする犯罪被害防止の取組を進めます。
- ◆ 安全・安心な暮らしを支える社会基盤の長寿命化と安全対策を計画的に進めるとともに、自然災害に備え防災・減災・強靱化を図ります。
- ◆ 平時における動画等を活用した防災学習や大規模災害時に備えた防災DXに取り組めます。

進捗状況を確認するための指標、重要業績を評価するための指標

指標（単位）	基準値 （令和6年）	進捗状況			目標値 （令和10年）
		令和7年	令和8年	令和9年	
① 顔が見える関係で、有事に支え合う（助け合う）関係があると考えている市民の割合（％）	71.7 （令和5年）				73.0
② 災害に備え食料を備蓄していると回答した市民の割合（％）	74.2 （令和5年）				100.0
③ 個別避難計画の策定割合（％）	17.0				100.0
④ 刑法犯認知件数（件）	279				255
⑤ 準用河川の防災対策実施率（％）〔 〕内は箇所数	0.0 [0]				32.3 [98]
⑥ 橋梁長寿命化修繕工事実施率（％）〔 〕内は箇所数	25 [18]				100 [71]
⑦ 人身交通事故の発生件数（件）	176				175

小戦略（具体的な取組）及び戦略的事務事業

小戦略 ①

日常の地域自治活動を通じた地域住民の顔の見える関係づくりと助け合いによる地域防災力の強化

- (1) 親子で参加する防災訓練を計画するほか、公民館活動による地域や人とのつながりを大切にしたい学ばせ合いや多世代が集い交流を深める事業など地域の様々な活動を通じて、災害時にも互いに助け合えるよう共助の意識向上を図ります。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	地域自治活動支援事業	地域自治振興課	115,070	基本目標1 小戦略①
(1)	多様な学習交流支援事業	公民館	13,121	基本目標1 小戦略② 基本目標3 小戦略③
(1)	災害対策事業	危機管理課	65,742	
		計	193,933	

小戦略 ②

市民一人一人の防災意識の向上、助け合いによる地域防災力の強化とそれらを支える公助の取組の推進

- (1) 無料耐震診断・耐震改修を促進するほか、建物内の安全性を高める対策、非常持ち出し品の準備、防災アプリを活用したわが家の避難計画づくりを進める啓発に取り組み、自分自身や家族を守る意識の向上を図ります。
- (2) 各地区の防災訓練がより実践的になるよう支援するとともに、井戸水の活用等に配慮した資機材の充実を図ります。また、備蓄品の更新・整備を進めます。
- (3) 避難行動要支援者が地域等の協力を得ながら安全に避難できるよう、関係機関と連携し個別避難計画の作成を進めます。
- (4) 多様な要配慮者が避難できる福祉避難所の確保を進めます。
- (5) 市内の防災対策をはじめ各地区の状況にあわせた地区防災計画の見直しや訓練に生かすため、市内20地区ごとの地震被害想定調査を進めます。
- (6) 避難のあり方検討会や学習会等を開催し、市民の防災・減災意識の向上を図ります。
- (7) 大規模災害時における迅速な被災者支援に向けて被災者生活再建支援システムの導入を検討します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(4) (5)(6)(7)	防災対策推進事業	危機管理課	84,147	
(3)	避難行動要支援者支援事業	福祉課	12,417	基本目標6 小戦略①
		計	96,564	

小戦略 ③

飯田市消防力(消防団)整備計画に基づく地域消防力の維持・向上

- (1) 定数の見直しなど団員の声を聞き、時代に即した第13次消防力(消防団)整備計画(令和8～12年度)を策定します。
- (2) 大規模災害時に地域の防災拠点にもなる詰所について、女性団員への配慮に加え平常時には団員の教育、訓練や会議の実施場所として、安全に活動できる施設となるよう分団本部詰所から順次整備を進めます。
- (3) 地域消防力の維持・向上のため、消防車両等の資機材を計画に沿って整備するほか、実践的かつ効果的な訓練を実施します。
- (4) 団員への各種資格取得の助成などにより消防団活動の魅力を高めるとともに、入団しやすい環境づくりや消防団のイメージ向上を図る広報のほか、事業所を含む地域全体の理解と協力を得ながら団員確保に努めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	消防施設整備事業	危機管理課	117,661	
(1)(3)(4)	非常備消防事業	危機管理課	192,395	
		計	310,056	

小戦略 ④	犯罪被害防止と消費者トラブルの未然防止
(1)	警察をはじめとする関係機関と犯罪被害防止の啓発等に取り組むとともに、地域の協力を得ながら防犯パトロール、街頭啓発活動を進めます。
(2)	消費者トラブルを未然に防ぐため、ライフステージに応じて関係機関等と連携した取組を進めるとともに、相談窓口である消費生活センターの体制強化を図ります。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	地域安全活動事業	危機管理課	38,612	
(2)	消費生活センター事業	市民課	20,510	基本目標4小戦略②
		計	59,122	

小戦略 ⑤	安全・安心な暮らしを支える社会基盤の長寿命化対策と強靱化、生活道路の安全対策をはじめとする交通事故抑止
(1)	激甚化・頻発化する自然災害に備え、市民が安全に避難でき、緊急物資等が供給できるよう緊急輸送路等の整備を推進します。また、市道（橋りょうや舗装を含む）、水路及びため池等について計画的な更新や修繕等の長寿命化対策を進めるほか、避難地となる公園の防災機能強化を検討します。
(2)	準用河川の防災対策が必要な箇所について、緊急度の高い箇所から計画的に河川改修やしゅんせつなどを進めます。また、飯田市国土強靱化地域計画に基づき、松尾地区の固定式ポンプ等の整備を進めます。
(3)	重要なライフラインのひとつである上下水道施設について、経営戦略に基づいた計画的な更新整備を進めます。
(4)	カーブミラーや路面標示などの安全施設整備を緊急性及び危険性の高い箇所から進めます。
(5)	交通安全運動期間中の各種啓発活動や交通安全教室などにより交通安全意識の高揚を図ります。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	土地改良事業	土木課	156,953	
(1)(2)	防災・安全対策事業	土木課	805,400	基本目標3小戦略⑧
(1)(2)	社会基盤維持管理事業	維持管理課	1,221,782	
(1)	公園整備事業	維持管理課	61,286	基本目標3小戦略⑧
(2)	内水排除整備事業	地域計画課	209,955	
(3)	水道事業	水道課	4,443,528	
(3)	妙琴浄水場更新整備事業	水道課	194,172	
(3)	下水道事業	下水道課	5,042,293	
(3)	下水処理施設維持管理事業	下水浄化センター	946,316	
(4)	交通安全施設整備事業	危機管理課	26,668	基本目標3小戦略⑧
(5)	交通安全事業	危機管理課	4,147	
		計	13,112,500	

参考 デジタル技術を活用する事務事業（再掲）			
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	備考
① (1)	災害対策事業	危機管理課	
② (2) (6)	防災対策推進事業	危機管理課	
③ (3)	非常備消防事業	危機管理課	

基本目標 3

こども飯田で育ってよかった・育ててよかったと 実感できるまちをつくる

関係するSDGs



戦略（考え方）

- ◆ こども・若者の意見を聴き、大人も一緒に考え、実現することで、自己有用感や自己肯定感を感じることができ、積極的に物事に関わろうとする文化、風土を醸成します。
- ◆ 発達段階に応じて自然や文化・芸術に触れ、多様な人と関わる実体験や経験、地域との関わりを持ちながら、生涯にわたって、主体的に他者と協働しながら自らの未来を描き、その実現に向けて生き抜いていける力の基礎を育みます。
- ◆ 妊娠、出産、育児・子育ての心配や不安など個々のニーズに寄り添い、子育てに魅力を感じられるよう、継続した効果的な相談・支援に取り組みます。
- ◆ 未来を見据えて地域の良さを生かしながら、全てのこどもにとって魅力ある学びの環境づくりを進めていきます。
- ◆ 様々な困難を抱えるこども・若者や家庭を誰一人取り残さず、その特性やニーズに応じた相談等に寄り添ったきめ細かな支援を途切れなく提供します。
- ◆ こども・若者の健全な育成を実現するため、ライフステージにあわせた経済的（家計）支援に取り組みます。
- ◆ 安心して利用できる公共施設や社会基盤の整備、通学路安全対策等をこどもの視点も取り入れて整備します。
- ◆ 若者がこの地域に暮らしながら学びを深め、希望をかなえることができる環境の充実に取り組みます。
- ◆ こども・若者からの意見聴取や様々な子育て情報発信の手段として、デジタル技術の活用を推進します。

進捗状況を確認するための指標、重要業績を評価するための指標

指標（単位）	基準値 （令和6年）	進捗状況			目標値 （令和10年）
		令和7年	令和8年	令和9年	
① 信州やまほいく 認証施設数（園）	24 （令和6年4月）				28
② 乳幼児健診・乳幼児相談 の受診率（％）	令和7年5月 ※令和5年98.0				98.0
③ 産後の指導・ケアを十分に受けることができた と 回答した人の割合（％）	令和7年5月 ※令和5年88.9				92.0
④ 「家庭がほっとできる、安心できる場所」と思う又はどちらかというと思う子ども・若者の割合（％）	こども 87.6 若 者 89.4 （令和6年10月）				こども 92.5 若 者 92.5
⑤ 飯田市に住み続けたいと思う又はどちらかというと思う若者の割合（％）	59.2 （令和6年10月）				69.2
⑥ 自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合（％）	小学生 81.8 中学生 77.7				基準値以上
⑦ 【小中学生】 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合（％） 【高校生】 地域（社会）をよりよくするために、地域課題の解決に関わりたいと思う生徒の割合（％）	小学生 86.0 中学生 77.5 高校生 58.7				基準値以上
⑧ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（％）	小学生 80.3 中学生 59.8				基準値以上
⑨ 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる児童生徒の割合（％）	小学生 81.3 中学生 82.8				基準値以上

小戦略（具体的な取組）及び戦略的事務事業

小戦略 ①	安心して子ども・若者が意見表明、話し合いの場に参加することができ、その意見が反映できる仕組みづくり			
(1)	子ども・若者、子育て世代からの声を聴く機会を継続的に設け、思い描く夢や希望するライフスタイルを実現するために必要なこと、それぞれが抱える不安や悩みを把握し、必要な支援等を検討します。			
(2)	聴き取った意見等を尊重し、実現できるよう関係部局と協議検討し、フィードバックする仕組みを構築します。			

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	地域子育て支援事業	こども課	25,124	基本目標3小戦略②⑦ 基本目標6小戦略②
(2)	こども家庭センター事業	こども課	89,944	基本目標3小戦略② 基本目標6小戦略②
		計	115,068	

小戦略 ②	妊娠、出産、子育てまでの効果的で途切れない相談・支援			
(1)	不妊・不育症治療費助成の継続や相談窓口の開設により、子どもを欲しいと望む夫婦等の希望がかなうよう寄り添い、支援をします。また、妊産婦健診費用の助成を行い、妊産婦の健康を保持増進し、子どもが健やかに生まれ育つように健診受診を勧めます。			
(2)	乳幼児健診の際に多い発達や離乳食に関する相談への対応や新生児聴覚検査、1か月児健診への費用助成など妊娠、出産、子育て期間を通して途切れない相談支援体制の充実と多様化するニーズへの効果的な支援を行います。			
(3)	子育て中の保護者等の不安や心配ごとに地域資源を活用し、相談やサポートできる体制づくりに取り組みます。			
(4)	こどもの放課後や長期休暇期間中の居場所づくり及び地域こどもの生活支援事業に取り組む団体の活動支援を推進します。			
(5)	飯田市立病院を中心として、地域診療所や助産院等と連携した産科医療体制により、地域での安全な分娩機能を堅持するとともに、市民に対し健診、分娩ができる産科医療機関や助産院について情報提供を行います。			

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	不妊治療費助成事業	保健課	13,815	
(1)	妊産婦健診事業	保健課	96,999	
(2)	乳幼児保健事業	保健課	22,906	
(2)(3)	乳幼児親子学習交流支援事業	公民館	1,256	
(2)(5)	出産子育て応援事業	保健課	95,237	基本目標6小戦略②
(3)	こども家庭センター事業	こども課	89,944	基本目標3小戦略① 基本目標6小戦略②
(3)(4)	地域子育て支援事業	こども課	25,124	基本目標3小戦略①⑦ 基本目標6小戦略②
(4)	民間保育所等特別保育事業	保育家庭課	211,805	基本目標3小戦略③
(4)	児童館・児童センター・児童クラブ運営事業	学校教育課	399,425	
(4)	放課後子ども教室設置運営事業	学校教育課	4,073	
(5)	市立病院運営事業	市立病院事務局 経営企画課	17,548,100	基本目標6小戦略⑦
		計	18,508,684	

小戦略 ③	地育力を活用し、地域の自然や文化、地域との関わりにより、健やかで心豊かな育ちを支える
(1)	自然と地域との関わりを大切にする「いいだ型自然保育」に取り組みます。
(2)	民間保育所等と連携し、こどもの育ちや保護者の子育てを支える保育人材の確保と定着につながる各種支援に取り組むとともに、幼児教育・保育人材コーディネーターを設置することで、潜在保育士の掘り起こしや保育専門指導員と共に保育士相談窓口の機能強化をし、保育の質の向上を図ります。
(3)	「地域食材の日」を公立保育園や小中学校の給食で設け、こどもが地域の有機野菜等を味わい、地域の旬の食材や郷土食、環境に配慮した食材について知ること、食育を進めます。
(4)	地域の魅力や文化を生かしたみらい創造教育を通じて、体験学習や職場体験、地域交流活動を推進し、ふるさとへの誇りと地域社会で貢献できる次世代の人材育成を支援します。
(5)	学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けて、市が認める安全・安心な地域クラブ（公認地域クラブ）への活動支援をするとともに、指導者の確保と育成に取り組み、持続可能な運営体制の構築を目指します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	民間保育所等特別保育事業	保育家庭課	211,805	基本目標3小戦略②
(1)(3)	公立認定こども園管理運営事業	保育家庭課	826,165	基本目標3小戦略⑥⑦⑧
(2)	保育士等人材確保支援事業	保育家庭課	21,604	
(2)	児童福祉推進事務	保育家庭課	12,130	
(3)	学校給食運営事業	学校教育課	490,552	
(3)	学校給食施設維持管理事業	学校教育課	37,509	
(3)	地域循環型農業推進事業	農業課	13,868	基本目標5小戦略④⑧
(4)	多様な学習交流支援事業	公民館	13,121	基本目標1小戦略② 基本目標2小戦略①
(4)	高校生等次世代育成事業	公民館	9,130	基本目標1小戦略②
(4)	小中学校キャリア教育推進事業	学校教育課	5,266	基本目標1小戦略②⑦
(4)	地育力向上連携推進事業	生涯学習・スポーツ課	4,928	基本目標1小戦略②
(5)	文化・スポーツ活動の体制整備事業	生涯学習・スポーツ課	12,420	
		計	1,658,498	

小戦略 ④ こどもが主体的に学力を育む

- ICTを活用するなど、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で
- (1) 深い学びの視点から授業改善が進むよう小中学校に働きかけ、一人一人の問いや願いをもとに児童生徒が主体的に学ぶ「ムトスの学び」が実現されるように支援します。
 - (2) 全国学力・学習状況調査および総合学力調査等で児童生徒の学習状況を把握し、具体的な学習指導の改善や支援につなげる取組が小中学校で展開できるよう支援します。
 - (3) 小中学生の自発的な読書に向けて、学校図書館と市立図書館が連携し、読書意欲を高めるための企画の実施や学校図書館管理システム導入・活用による読書に親しむ環境づくりを進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	学力向上推進事業	学校教育課	58,192	
(1)	外国語教育推進事業	学校教育課	54,988	
(1)(3)	学校教育振興事業	学校教育課	180,969	
(2)	学習におけるICT活用推進事業	学校教育課	228,043	
(2)	情報モラル教育推進事業	学校教育課	1,900	
(3)	こども読書活動推進事業	中央図書館	10,434	
		計	534,526	

小戦略 ⑤ 学校の新たな枠組みとして学園構想の推進

- 「飯田市立小中学校の今後のあり方に関する方針～第1次～」に基づき、各中学校区内の小中学校を「学園」として小中一貫教育を進めます。義務教育9年間の学びの系統性と連続性を高めるとともに、「みらい創造科(仮称)」を特設教科として新設し、地域とのつながりを生かした探究学習を進めます。また、飯田コミュニティスクールの仕組みを生かして、地域・家庭も各学園における児童生徒の学びを支えます。
- (2) 「飯田市これからの学校のあり方審議会」にて調査・審議を進め、第2次、第3次以降の方針の策定を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	飯田コミュニティスクール推進事業	公民館	1,910	
(1)(2)	小中一貫教育推進事業	学校教育課	8,814	
		計	10,724	

小戦略 ⑥	発達特性のあるこどもなど困難を抱えるこどもとその家庭への相談支援や教育環境の構築
(1)	子育ての行き詰まりなど困難を抱える家庭の支援ニーズに対応し、継続した相談支援やこどもが安心して生活できる療育を実施します。
(2)	発達支援ニーズのあるこどもとその支援内容を所属園と検討する機会として、5歳児相談を民間保育所等へ拡充します。
(3)	発達特性や障がいがあっても、互いを認め合い、困っている人には手を差し伸べる温かな人間関係のある集団づくりに向けて、特別な支援を必要とする児童生徒への支援体制を強化します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	養育支援事業	こども課	36,584	
(1)	広域的地域相談支援事業	こども課(こども発達センターひまわり)	36,856	基本目標6小戦略③
(1)	医療的ケア児等総合支援事業	こども課(こども発達センターひまわり)	6,629	基本目標6小戦略③
(1)	児童発達支援センター事業	こども課(こども発達センターひまわり)	88,530	
(1)	公立認定こども園管理運営事業	保育家庭課	826,165	基本目標3小戦略③⑦⑧
(1)	障害福祉推進事業	福祉課	73,934	基本目標6小戦略②③
(2)	発達支援事業	こども課	25,222	
(3)	特別支援教育支援事業	学校教育課	151,463	
(3)	人間関係づくり支援事業	学校教育課	82,734	
		計	1,328,117	

小戦略 ⑦	若者、子育て家庭への経済的支援
(1)	若者、子育て家庭の経済的負担の軽減や利便性の向上に向けて、ライフステージを通じた効果的な経済的支援に取り組みます。
(2)	ひとり親家庭等のこどもや親が希望する進学又は就労がかなえられるよう、関係団体と連携した学習支援や就労のための経済的支援に取り組みます。また、ひとり親家庭のこどもの進学に向けたチャレンジを後押しするため、大学等の受験料を支援します。
(3)	学校や各部局と連携し、奨学金制度の周知及び情報発信を行うとともに、進学を希望しているこどもが経済的理由により進学等を諦めることがないよう奨学金制度を運用し、こども・若者の夢を応援する経済的支援に取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	地域子育て支援事業	こども課	25,124	基本目標3小戦略①② 基本目標6小戦略②
(1)	福祉医療費給付事業	保健課	698,390	
(1)	児童手当事業	保育家庭課	2,069,997	
(1)	民間保育所等運営事業	保育家庭課	3,333,450	基本目標3小戦略③
(1)	結婚新生活支援事業	保育家庭課	22,000	
(1)	保育料軽減事業	保育家庭課	202,789	
(1)	公立認定こども園管理運営事業	保育家庭課	826,165	基本目標3小戦略③⑥⑧
(2)	ひとり親家庭等福祉推進事業	保育家庭課	27,950	
(2)	奨学金貸与事業	学校教育課	33,227	
(3)	就学援助等事業	学校教育課	123,853	
		計	7,337,821	

小戦略 ⑧	こどもが安全・安心に生活できる環境整備			
(1)	こどもが安全・安心に生活できる住環境を整えるとともに、急激な気候変動に対応した公共施設整備に取り組みます。			
(2)	こども、若者が安心して集える都市公園の整備や子育ての場として魅力ある動物園の環境整備に取り組みます。			
(3)	「飯田市通学路安全対策アクションプログラム」に基づき、児童生徒が安全・安心して通学できるようにするため、通学路の安全対策と環境整備に取り組みます。			
(4)	こどもが安全に学び、活動できるよう保育所、認定こども園、小中学校の施設の改修整備に取り組みます。			

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	公営住宅整備事業	地域計画課	247,413	
(1)(4)	民間保育所等施設整備事業	保育家庭課	153,504	
(1)(4)	公立認定こども園管理運営事業	保育家庭課	826,165	基本目標3小戦略③⑥⑦
(1)(4)	小学校施設改修事業	生涯学習・スポーツ課	867,026	基本目標1小戦略⑥
(1)(4)	中学校施設改修事業	生涯学習・スポーツ課	213,130	基本目標1小戦略⑥
(2)	公園整備事業	維持管理課	61,286	基本目標2小戦略⑤
(2)	公園維持管理事業	維持管理課	96,848	
(2)	飯田子どもの森管理運営事業	維持管理課	77,643	
(2)	飯田動物園管理運営事業	維持管理課	71,746	
(3)	防災・安全対策事業	土木課	805,400	基本目標2小戦略⑤
(3)	交通安全施設整備事業	危機管理課	26,668	基本目標2小戦略⑤
		計	3,446,829	

小戦略 ⑨	地域の高等教育環境の充実			
(1)	この地域の高等教育環境の充実や4年制大学の開設の可能性について、地域内外の高等教育機関との意見交換や情報収集に取り組みます。また、将来の学部等の設置につながるよう、南信州サテライトキャンパスを設置している信州大学との連携を推進します。			
(2)	新たな気づきにより学びに対する意欲を高め、自らが持つ可能性を広げることができるよう、大学の研究者等と学ぶ機会を提供します。			

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	大学とのネットワーク構築事業	大学誘致連携推進室	21,244	基本目標1小戦略②
(1)(2)	大学設置活動推進事業	大学誘致連携推進室	1,000	基本目標1小戦略② 基本目標4小戦略②③ 基本目標5小戦略②
		計	22,244	

参考 デジタル技術を活用する事務事業（再掲）

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	備考
① (1)	地域子育て支援事業	こども課	
③ (1)(3)	公立認定こども園管理運営事業	保育家庭課	
③ (2)	学習におけるICT活用推進事業	学校教育課	
⑥ (1)	児童発達支援センター事業	こども課（こども発達センターひまわり）	

基本目標 4

自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる

関係するSDGs



戦略（考え方）

- ◆ 環境文化都市づくりプラットフォーム「うごくる。」を通じて環境文化都市の理念浸透や意識変革を市民に広く働きかけるとともに、地域資源を生かした環境学習を進めることで一人一人の行動変容を促します。
- ◆ サーキュラーエコノミーへの移行を視野に入れ、3Rを更に推進するとともに、水などの循環利用の研究を進め、消費者、事業者に対しても新たな資源循環について理解が深まるよう働きかけます。
- ◆ 2050年いまだゼロカーボンシティ実現に向けて、エネルギーの見える化を進め、エネルギーの効率的利用をはじめとした省エネルギーを促進するとともに、グリーン水素利活用の研究や地域産再生可能エネルギーの創出及び利活用を進めます。
- ◆ ネイチャーポジティブの実現に向けて、生物多様性への理解を深め、地域の豊かな自然環境の保護及び利活用を進めます。
- ◆ 一人一人の行動変容を促すため、エネルギーの見える化の研究や3Rの啓発に向けた情報発信にデジタル技術を活用します。

進捗状況を確認するための指標、重要業績を評価するための指標

指標（単位）	基準値 （令和6年）	進捗状況			目標値 （令和10年）
		令和7年	令和8年	令和9年	
① 環境に関する学習会や知識を高めるような行事に関わったり、参加した人の割合（％）	20.1 （令和5年）				35.0
② 環境文化都市の認知度（％）	58.7 （令和5年）				70.0
③ 市民一人当たりが1日に排出するごみの量（家庭系一般廃棄物）（g）	548.9 （令和5年）				500.6
④ 家庭から排出されるごみのリサイクル率（％）	22.3 （令和5年）				28.4
⑤ エシカル消費を日常的に心がけ実践している人の割合（％）	66.2 （令和5年）				75.0
⑥ 二酸化炭素排出量（2013年比）（％）	100 （2013年）				50 （2030年）
⑦ OECMとしての国際データベース登録に向けた申請数（件）	0				3

小戦略（具体的な取組）及び戦略的事務事業

小戦略 ①	環境意識を高め、行動変容へつなげる「うごくる。」の充実			
(1)	気候変動に加え、ごみ分別、生物多様性などの環境学習を含めて、環境文化都市づくりプラットフォーム「うごくる。」の内容を充実させ、体制の強化を図り、より広く市民に環境意識が高まる機会を提供します。			
(2)	小中学生を対象にした環境教育を進め、若者世代が議論することで、環境文化都市を担う人材を育成するとともに、家庭や地域における行動変容につなげます。			
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	環境教育推進事業	環境課	3,001	
(1)(2)	環境保全一般経費	ゼロカーボン シティ推進課	11,047	基本目標4小戦略⑤
(2)	脱炭素先行地域づくり事業	ゼロカーボン シティ推進課	420,310	基本目標4小戦略③ 基本目標5小戦略②
		計	434,358	
小戦略 ②	新たなリサイクルの研究などによる3Rのさらなる推進と資源循環の研究			
(1)	エシカル消費の普及促進、雑紙をはじめとした分別の徹底の啓発などにより、市民意識の向上と行動変容を促すとともに、新たなリサイクルの研究を行い、さらなる3Rの推進に取り組みます。			
(2)	水資源を有効活用するため、信州大学と連携し、市内の公共施設等でグリーン水素や水循環利用の社会実装の研究を進めるとともに、水の循環利用とグリーン水素の利活用の実証タウン形成に向けた地域や企業の意識醸成に取り組みます。			
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	3R推進事業	環境課	218,727	基本目標4小戦略⑤
(1)	ごみ適正処理事業	環境課	320,566	
(1)	消費生活センター事業	市民課	20,510	基本目標2小戦略④
(2)	大学設置活動推進事業	大学誘致連携 推進室	1,000	基本目標3小戦略⑨ 基本目標4小戦略③ 基本目標5小戦略②
		計	560,803	
小戦略 ③	省エネルギーの促進と地域産再生可能エネルギーの創出、利活用の推進			
(1)	電力会社が行う「電力の需給調整」の取組と地域通貨を連動させるなど市民の省エネ意欲を高め、家庭や事業所における無駄なエネルギー使用の抑制や効率的な運用を進めることで、エネルギー消費量の削減を促進します。			
(2)	地域産の再生可能エネルギーを普及拡大させるとともに、その活用を推進し地域のエネルギー自立を図ります。			
(3)	2030年までの脱炭素エリア構築に向けて、再生可能エネルギーの導入や地域マイクログリッドの運用、小中学校への環境学習プログラム導入など脱炭素先行地域づくりを推進します。			
(4)	信州大学と連携し、グリーン水素の利活用に向けた研究を進めるとともに、水素を利活用する社会の実現に向けた計画や推進体制を検討します。			
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	省エネルギー推進事業	ゼロカーボン シティ推進課	3,718	
(1)(2)(4)	地域エネルギー普及事業	ゼロカーボン シティ推進課	123,214	基本目標5小戦略②
(1)(3)	脱炭素先行地域づくり事業	ゼロカーボン シティ推進課	420,310	基本目標4小戦略① 基本目標5小戦略②
(4)	新産業創出事業	工業課	20,390	基本目標5小戦略②
(4)	大学設置活動推進事業	大学誘致連携 推進室	1,000	基本目標3小戦略⑨ 基本目標4小戦略② 基本目標5小戦略②
		計	568,632	

小戦略 ④	生物多様性と自然環境の保全推進
(1)	ネイチャーポジティブの実現に向けて、地域の固有種や特徴的な自然環境を把握し、OECM国際データベースへの登録を目指します。
(2)	エコパーク及びジオパークについて、それぞれの協議会の活動に構成市町村と連携して取り組むとともに、地域内外への分かりやすい情報発信で認知度向上を図るなどして、生物多様性と自然環境の保全を推進します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	自然環境保全推進事業	環境課	2,438	
		計	2,438	

小戦略 ⑤	デジタル技術を活用した3R啓発とエネルギーなどの見える化についての研究
(1)	ごみの収集及び分別の情報を容易に取得できるスマートフォン用アプリの発信機能を使い、3Rに係る情報提供を行います。
(2)	デジタル技術を活用し、エネルギー使用量やCO2排出量の「見える化」を進めるとともに、事業者に対してCO2削減に向けた伴走型の支援を行い、エネルギーの効率的利用とCO2排出削減を推進します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	3R推進事業	環境課	218,727	基本目標4小戦略②
(2)	環境保全一般経費	ゼロカーボン シティ推進課	11,047	基本目標4小戦略①
		計	229,774	

参考	デジタル技術を活用する事務事業（再掲）
----	---------------------

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	備考
⑤ (1)	3R推進事業	環境課	
⑤ (2)	環境保全一般経費	ゼロカーボン シティ推進課	

基本目標 5

誰もが多様な働き方で活躍でき、
次世代につながる魅力ある産業をつくる

関係するSDGs



戦略（考え方）

- ◆ 地域の全ての産業を支える担い手を育成・確保するため、若者や親世代に地域産業の魅力を伝え、るとともに、誰もが多様な働き方ができ、安心して働き続けられる環境づくりを支援します。
- ◆ 地域産業の更なる成長に向け、企業の稼ぐ力を高めるため、大学等との連携を図り、地域産業の高付加価値化・ブランド化に取り組みます。また、次世代空モビリティ・水素分野をはじめとする新産業への取組と脱炭素社会の構築への挑戦を支援します。
- ◆ 南信州地域が旅の目的地となるように、多様な主体が参画した取組により遠山郷、天龍峡等への誘客を図ります。また、地域固有の風土、人々の営み等の地域の魅力や資源を活用して、サステナブルツーリズムを推進し、リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通を見据えて関係人口の創出・拡大に取り組みます。
- ◆ 地域の産業において、域内生産・域内消費・域内発注・域内調達により地域からの所得の流出を低減するとともに、外部環境の影響を受けにくく環境負荷低減に寄与する地域内経済循環の取組を推進します。また、農業や林業が持つ多面的機能の理解を深め、豊富な資源や景観を活用する視点から、「農ある豊かな暮らし」を推進します。
- ◆ リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通を見据えて産業用地等の整備を進め、地域の特性・強みを生かして企業・事務所機能等の誘致に取り組みます。また、脱炭素社会の構築への取組を進める企業の新規立地や拡張を支援します。
- ◆ デジタル人材の育成と情報通信技術関連企業・人材の誘致・確保に取り組み、デジタル技術活用等により事業者の省力化と、生産性・サービス向上の促進を支援します。

進捗状況を確認するための指標、重要業績を評価するための指標

指標（単位）	基準値 （令和6年）	進捗状況			目標値 （令和10年）
		令和7年	令和8年	令和9年	
① 新規高校・大学等卒業者の地域内就職率（％）	35.4				45.0
② 長野県職場いきいきアドバンスカンパニー認証企業数（社）	25				45 （累計）
③ 新規就農者数（自営・親元就農）（人）	9 （令和5年）				30 （累計）
④ I-Port、ビジネスプランコンペにより成立する創業・新事業展開・事業転換の件数（件）	8 （令和5年）				40 （累計）
⑤ 市田柿出荷量（南信州）（t）	2,075 （令和5年）				2,200
⑥ 搬出材積（国有林を除く）（m³）	7,690 （令和5年）				50,400 （累計）
⑦ ネスクイイダ引合件数（全体）（件）	584 （令和5年）				600
⑧ 製造業の粗付加価値額（飯田下伊那）（億円）	1,618 （令和4年）				1,700
⑨ 観光入込客数（遠山郷を除く）（人・暦年）	527,300 （令和5年）				558,300
⑩ 観光地消費額（遠山郷を除く）（百万円・暦年）	763 （令和5年）				828
⑪ 遠山郷の観光入込客数（人・暦年）	70,700 （令和5年）				160,000
⑫ 遠山郷の観光地消費額（百万円・暦年）	160 （令和5年）				260
⑬ 市内企業・事業所の市内調達率（％）	41.3				45.0
⑭ 市民の市内店舗での購入率（％）	調査中				検討中
⑮ 市民の市内店舗での地域産品購入率（％）	84.4 （令和5年）				90.0
⑯ ネスクイイダ引合件数（会員間）（件）	63 （令和5年）				70
⑰ 環境に配慮した農産物地域相互認証制度の認定者数（人）	11				30 （累計）
⑱ 学校給食に提供する有機米の圃場面積（a）	25				100
⑲ 市産材の活用支援を利用した建築件数（件）	17 （令和5年）				100 （累計）
⑳ 企業立地・振興補助金交付件数（件）	2 （令和5年）				8 （累計）
㉑ サテライトオフィス補助金交付件数（件）	2 （令和5年）				8 （累計）

小戦略（具体的な取組）及び戦略的事務事業

小戦略 ①	地域産業を支える担い手・企業人材の育成・確保と多様な働き方・労働力補完に対する支援
(1)	若者や親世代が地域の企業や産業への理解を深める機会を提供し、地元で働くことが将来の進路選択の一つになるよう、中京圏での合同企業説明会や従業員の奨学金を肩代わりする企業の支援に取り組めます。
(2)	女性のライフステージに応じた柔軟な働き方を実現するため、自営型テレワーカー養成講座を実施し、デジタルスキルの向上から就業までを支援します。また、創業、新事業創出、女性や若者が活躍できる職場づくり、男性の育児休暇取得率の向上などに取り組む中小企業者等を支援します。
(3)	企業の人材不足を補うため、副業・兼業人材の活用を支援する補助事業やアウトソーシングの活用を促進するセミナー・個別相談を実施し、業務効率化と生産性・サービスの向上を支援します。
(4)	南信州担い手就農プロデュースが開催する移住就農相談会に参画して担い手を確保するとともに、「地域おこし協力隊」制度を活用して新規就農者を確保します。
(5)	「農ある暮らし」を応援するため、ワーキングホリデー、1日農業バイト及び市民農園等の利用を通して耕作への関心が高い利用者に必要な助言を行い、就農へつなげていきます。
(6)	専業・兼業等農業形態を問わず、農業経営に意欲のある者に対し機械購入費への補助等を行い、農業経営を支援します。
(7)	新たな製品開発や技術力向上に向け、製造現場における技術者・技能者、管理者等の育成と経営者の経営・課題解決力を高めるための伴走型の支援を行います。
(8)	信州大学と連携し、エス・バード内の「信州大学南信州・飯田サテライトキャンパス」の充実や専門的なスキル・技術を持った人材育成に取り組めます。
(9)	飯田市新事業創出支援協議会（I-P o r t）の機能活用と、ビジネスプランコンペティションの開催を通して、起業家の創出と育成、新事業創出、事業転換を目指す事業者を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	雇用対策事業	産業振興課	21,487	
(1)	技能者育成支援事業	産業振興課	2,881	
(1)	勤労者支援事業	産業振興課	166,377	
(2)	中小企業金融対策事業	産業振興課	1,507,277	
(4)(5)	担い手確保・育成支援事業	農業課	47,690	
(6)	農業経営強化事業	農業課	13,194	
(7)(8)	人材育成事業	工業課	21,907	
(9)	起業家育成支援事業	工業課	9,794	
		計	1,790,607	

- (1) 市田柿の販路拡大のため、生産団体と連携して国内外に展開する料理教室との取組の推進や海外進出のための商談・市場調査を進めます。
- (2) 南信州の畜産物のブランド力強化のため、銘柄豚の食べ比べ、南信州牛フェアの開催等を通して認知度向上や消費拡大につながる取り組みを進めます。
- (3) 生産団体等と連携してぶどう栽培の雨よけ対策等の施設導入を支援し、出荷量の増加と品質の向上を図ることによって他産地との差別化を進めます。
- (4) 農業者の減少、気候変動が著しい中で、デジタル技術も活用しながら農産物の高品質維持と省力化、新たな品目の栽培方法の研究を農業団体等と連携して実施します。
- (5) 二酸化炭素の吸収作用を高めることにつながる森林整備を進めるため、架線集材やスマート林業の導入など林業経営の合理化を支援します。また、産出材全ての有効活用を図るとともに、J-クレジットの導入等環境や森林資源の価値を高める取組を進めます。
- (6) 地域内の産業人材不足に対応するため、デジタル技術の活用による事業者の製造現場における省力化・自動化、生産性向上等を関連機関とともに支援します。
- (7) エス・バード内工業技術試験研究所でのISO/IEC17025に基づく認定試験等の積極的な受託により、研究所の機能強化を図ります。
- (8) 航空機電動化・次世代空モビリティ分野のニーズ等に対応したノウハウや研究支援体制が構築された地域として、顧客アプローチなどを通じ、設計、開発、試作からの参画や量産化対応に向けた取組の支援を行います。
- (9) 信州大学によるエス・バードでのグリーン水素・水循環の実証タウン事業に参画し、水素の活用可能性調査を行うとともに、関連企業の立地や地元企業の参入を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(3)(4)	果樹・野菜等産地力強化事業	農業課	67,262	
(2)	畜産産地力強化事業	農業課	9,384	
(2)	工業振興事業	工業課	174,237	基本目標5小戦略④
(4)	農業振興センター事業	農業課	6,000	
(5)	森林づくり推進事業	林務課	86,562	基本目標5小戦略④
(5)	森林経営管理事業	林務課	42,804	基本目標5小戦略④
(6)(7)(8)(9)	新産業創出事業	工業課	20,390	基本目標4小戦略③
(9)	大学設置活動推進事業	大学誘致連携 推進室	1,000	基本目標3小戦略⑨ 基本目標4小戦略②③
(9)	地域エネルギー普及事業	ゼロカーボン シティ推進課	123,214	基本目標4小戦略③
		計	530,853	

小戦略

③

多様な主体が参画した取組によるサステナブルツーリズムの推進

- 「いいだツーリズムビジョン」を踏まえて取り組む関係人口の創出に向け、地域の人・生活・文化などに触れられ飯田らしさが体験できる観光コンテンツづくりや、推進人材・受け皿となる地域プレイヤーの確保・育成を行い滞在交流型観光を推進します。
- (1) 天龍峡エリア、西部山麓エリアに広がる自然環境、周辺の地域資源を活用した周遊型観光やサイクルツーリズムを進めるとともに、安全・快適に楽しめる環境づくり、受入体制の強化に地域・関係団体・事業者等と協働して取り組みます。
- (2) 道の駅遠山郷の令和7年秋のグランドオープンに向けて整備を進めるとともに、南アルプスエコ登山やしらびそ高原を中心とした星空保護区認定に向けた取組などの山岳高原観光を推進して、遠山郷への誘客を促進します。
- (3)

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	観光誘客推進事業	商業観光課	55,835	
(1)(2)	天龍峡まちづくり支援事業	商業観光課	34,859	
(2)	観光施設管理事業	商業観光課	63,088	
(3)	遠山郷観光戦略プロジェクト事業	遠山郷観光振興室	15,140	
(3)	上村観光施設管理事業	遠山郷観光振興室	76,081	
(3)	南信濃観光施設管理事業	遠山郷観光振興室	501,483	
		計	746,486	

- (1) 地域内での発注、調達を促進するため地域内事業者への意識を高めるとともに、事業者間の連携による商品の開発・販路開拓を支援します。また、庁内関係部署と連携した、地域ポイント付与による地域通貨の実証実験及び地域内の消費拡大に向けた行動経済学の介入による事業を推進します。
- (2) 循環型農業の拠点である飯田市堆肥センターで製造された有機肥料の活用の促進、地域内の未利用資源を利用した飼料や資材の製品化を進めます。
- (3) 「オーガニックビレッジ宣言」の理解を広め、有機農業等環境に配慮した農業を推進する活動として、地域内農産物相互認証制度の認証者を増やし、認証された農産物の地域内での流通、消費につなげる取組を行います。また、学校給食における有機米導入の本格化に向け栽培実証試験の実施し、栽培ほ場の拡大に取り組みます。
- (4) 林業関係団体、事業者等と連携して、個人住宅、多数の者が利用する民間建築物、公的施設等への市産材(認証材含む)の利用を促進するため、市産材を使用して新築又はリフォームをした場合に補助金を交付します。また、今後予定されているリニア駅周辺整備をはじめとした大型公共事業に市産材を積極的に活用するため、庁内及び関係機関等と協議を進めます。
- (5) 架線集材、ドローンやIT技術などの活用、高性能林業機械の導入など林業経営の合理化を支援し、二酸化炭素の吸収作用を高めることにもつながる森林整備を進めます。また、産出材全ての有効活用を図るとともに、J-クレジットの導入等環境や森林資源の価値を高める取組を進めます。
- (6) 主伐・再造林や搬出間伐を進めるために森林の集約化方針を定め、方針に基づいた意向調査や境界明確化による森林整備の団地化を図ります。
- (7) まちづくり委員会等の参加による里山・竹林保全等に取り組む地域活動に対し初期整備の実施や講師派遣等の支援を行い、継続的な整備により地域の景観形成を推進します。
- (8) (公財)南信州・飯田産業センターのネスクイダを中心に、販路開拓による域外からの受注獲得、域内受発注の促進、地域内企業の連携による製品開発を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	地域経済循環推進事業	産業振興課	8,923	
(1)	商業活性化総合支援事業	商業観光課	54,772	基本目標6小戦略④⑤
(2)(3)	地域循環型農業推進事業	農業課	13,868	
(4)	森林資源活用推進事業	林務課	13,905	
(5)	森林づくり推進事業	林務課	86,562	基本目標5小戦略②
(5)(6)	森林経営管理事業	林務課	42,804	基本目標5小戦略②
(7)	里山整備推進事業	林務課	14,501	
(8)	工業振興事業	工業課	174,237	基本目標5小戦略②
		計	409,572	

小戦略 ⑤ 企業誘致、オフィス誘致の推進				
(1) 活力ある産業拠点の創出と雇用の場を確保するため、飯田山本インター産業団地(仮称)の整備に取り組めます。				
(2) リニアビジョンにおける座光寺S I C周辺の研究開発型企業・機関等の誘致や本社機能の移転、エス・バードからリニア駅までのサステナブルオフィスゾーンの形成に向けた検討を進めるとともに、中心市街地においても、サテライトオフィス等のオフィス誘致に取り組めます。				
(3) 脱炭素への取組を進める環境に配慮した企業の新規立地や拡張を支援します。				
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	産業用地整備事業	工業課	506,153	
(2)(3)	企業誘致・立地促進事業	工業課	71,751	
		計	577,904	

参考 デジタル技術を活用する事務事業（再掲）				
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	備考	
① (2)	雇用対策事業	産業振興課		
② (4)	果樹・野菜等産地力強化事業	農業課		
② (4)	農業振興センター事業	農業課		
② (5) ④ (5)	森林づくり推進事業	林務課		
② (5) ④ (5)	森林経営管理事業	林務課		
② (6)	新産業創出事業	工業課		
③ (2)	観光施設整備事業	商業観光課		
③ (3)	南信濃観光施設管理事業	遠山郷観光振興室		
④ (1)	商業活性化総合支援事業	商業観光課		

基本目標 6

誰もが生涯を通じて その人らしく暮らすまちをつくる

関係するSDGs



戦略（考え方）

- ◆ 共に支え合い、助け合い、誰もが住み慣れた地域で暮らすことができる地域共生社会の実現を目指して、多様な主体と協働し、地域福祉を推進します。
- ◆ 福祉課題を抱えた市民の孤立を防ぐため、多様な主体が連携して問題解決を目指す仕組みを構築し、世代や属性を超えた交流の場や個々のニーズに応じた居場所を整備するとともに、アウトリーチ等を通じた支援をします。
- ◆ 研修会や広報活動等を通じて、市民の障がいに対する正しい理解を深め、障がい者が安心して地域で生活し、社会参加できるよう、差別や虐待のないまちを目指します。
- ◆ 全世代に向け自身の健康維持や健康増進の取組を推奨し、年代に応じた健康づくりの取組により、生活習慣病予防や重症化予防、歯周病予防及び将来の介護予防を推進します。
- ◆ 高齢者が自分らしく充実した生活を目指し、健康づくりや介護予防、重度化防止に意欲的に取り組み、積極的に地域や社会で活躍するよう支援します。
- ◆ 医療・介護サービスの提供体制を維持するため、担い手の確保や従事者の離職防止、関係団体との連携強化に取り組みます。
- ◆ デジタル技術の活用により、市立診療所などの医療体制の充実を図ります。

進捗状況を確認するための指標、重要業績を評価するための指標

指標（単位）	基準値 （令和6年）	進捗状況			目標値 （令和10年）
		令和7年	令和8年	令和9年	
① 近所の人と支え合うことを実感している人の割合（％）	71.7 （令和5年）				73.0
② ひきこもり家族学習会への参加促進（人）	6 （令和5年）				10
③ 障がい福祉の理解啓発（研修会への参加者数）（人）	61 （令和5年）				100
④ 健康寿命（歳）	男性81.55 女性84.25 （令和4年）				平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
⑤ 国民健康保険加入者の特定健診受診率（％）	44.6 （令和5年）				57.5
⑥ 歯科健診該当年齢受診率（％）	19.9 （令和5年 40歳 受診率）				20.0 （20歳～60歳）
⑦ 要介護認定出現率（％）	17.85				18.81 （令和12年）
⑧ 初回要介護認定時の平均年齢（歳）	84.03 （令和5年）				84.08

小戦略（具体的な取組）及び戦略的事務事業

小戦略 ① 地域福祉の推進

- (1) 地域福祉コーディネーターとの連携を強化するとともに、地区で取り組む好事例や先進事例を未実施地区へ横展開を図るなど課題解決に向けた取組を推進します。
- (2) 民間事業者や地域等と連携した地域の見守り体制を構築するとともに、ごみ出し困難世帯に対する支援の拡充など生活課題の解決に取り組めます。
- (3) 福祉課題の解決に向けて、地域福祉コーディネーターが各地区で意見交換を行い、一緒に考え、地区それぞれの特性を生かした取組を住民と共に展開します。
- (4) 犯罪被害に遭われた方々を社会全体で支え、市民誰もが安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与するため「飯田市犯罪被害者等支援条例」を制定し、取組を推進していきます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	地域福祉推進事業	福祉課	120,137	基本目標6小戦略②
(2)	社会福祉推進事務（厚生住宅を含む）	福祉課	17,375	
(2)	避難行動要支援者支援事業	福祉課	12,417	基本目標2小戦略②
(3)	福祉委員活動事業	福祉課	43,858	
(4)	社会援護推進事業	福祉課	3,453	
		計	197,240	

小戦略 ② 福祉まると相談窓口の充実化と相談支援体制の強化

- (1) 福祉課題を抱えた市民の孤立を防ぐため、「断らない相談窓口」で様々な不安や悩みを相談できることを市民に広く周知するとともに、機能の強化を図り、適切な機関等につなげます。
- (2) ひきこもり家族の学習会の充実を図るとともに、アウトリーチ、伴走型支援など当事者や家族に寄り添った支援を行います。
- (3) 支援が届いていない人、支援が途切れてしまっている人に支援を届け、社会資源の把握と活用を図り、個々のニーズに応じた居場所の整備に取り組めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	障害福祉推進事業	福祉課	73,934	基本目標3小戦略⑥ 基本目標6小戦略③
(1)	基幹・地域包括支援センター運営事業	長寿支援課	173,167	基本目標6小戦略⑥
(1)(2)	生活困窮者支援事業	福祉課	36,433	
(1)(2)	地域子育て支援事業	こども課	25,124	基本目標3小戦略①② ⑦
(1)(2)	出産子育て応援事業	保健課	95,237	基本目標3小戦略②
(1)(2)(3)	重層的支援体制整備事業	福祉課	26,127	
(1)(2)(3)	こども家庭センター事業	こども課	89,944	基本目標3小戦略①②
(2)	地域福祉推進事業	福祉課	120,137	基本目標6小戦略①
(2)	地域づくり・地域リハビリテーション推進事業	福祉課	40,606	基本目標6小戦略③
		計	680,709	

小戦略 ③	障がい福祉の推進			
(1)	いいだ障がい福祉プラン2024に基づき各種啓発活動を実施し、市民の障がいに対する正しい理解を深め、差別や偏見、障がい者虐待をなくすための取組を進めます。			
(2)	障がい関係事業者や一般企業と連携してユニバーサルデザイン研修会等を開催するなど障害者差別解消法における事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供について学ぶことで、市民の理解を深め、啓発を広めます。			
(3)	障がいの程度や種類による不利益がなく、情報を取得する方法が選択できる環境を整備していきます。			
(4)	相談支援事業者への専門的指導や人材育成など地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センター設置に向け、関係機関とともに検討を行います。			
(5)	医療的ケア児等コーディネーターを中心に医療的ケア児等の実態を把握し、個々の状況に応じた支援につなげます。			

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	地域づくり・地域リハビリテーション推進事業	福祉課	40,606	基本目標6小戦略②
(1)(2)(3) (4)(5)	障害福祉推進事業	福祉課	73,934	基本目標3小戦略⑥ 基本目標6小戦略②
(4)	医療的ケア児等総合支援事業	こども課(こども発達センターひまわり)	6,629	基本目標3小戦略⑥
(5)	広域的地域相談支援事業	こども課(こども発達センターひまわり)	36,856	基本目標3小戦略⑥
		計	158,025	

小戦略 ④	全世代に向けた健康づくり			
(1)	企業への出前健康講座、消防団員に対する健康教室、歯科健診の対象者の拡大、健康ポイントを活用したウォーキング、朝食欠食などの課題解決を含む食育の更なる推進により、市民が健康に関心を持ち、自分に適した運動・食生活・口腔衛生習慣を理解し実践できるよう取り組みます。			
(2)	国保被保険者の生活習慣病発症と重症化を予防するため、特定健診の受診勧奨とその結果により必要な特定保健指導を実施します。			
(3)	若年層の乳がん・子宮頸がんの患者数が増加傾向にあるため、電子申請を活用した検診の申込みや乳がん・子宮頸がん検診を同時に受診できる婦人科セット検診を行う等新たな取組を加え、がん検診を推進します。			
(4)	がん治療に伴う外見変化を補う補整具等の購入補助、骨髄等の提供者(ドナー)及びその勤務先への助成により、対象者の負担軽減を図り、併せてドナー登録制度の啓発を行います。			
(5)	まちづくり委員会の健康福祉委員会等と協力し、地区の健康課題解決に向け、身近な場所で健康学習会や健康講座を開催するなど様々な事業を展開していきます。			

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	市民の健康づくり事業	保健課	10,544	
(1)	商業活性化総合支援事業	商業観光課	54,772	基本目標5小戦略④ 基本目標6小戦略⑤
(2)	国民健康保険特定健康診査・特定保健指導事業	保健課	65,178	
(3)	がん検診等事業	保健課	94,608	
(4)	がん治療助成事業	保健課	1,306	
(5)	健康福祉委員等活動事業	保健課	2,880	
		計	229,288	

小戦略 ⑤	介護予防の意識醸成
(1)	市民が積極的かつ継続的に介護予防(特にフレイル予防)に取り組めるよう、「通いの場」等の参加者とサポーターに対して「高齢者の健康ポイント事業」を継続し、介護予防に対する意欲を高めます。
(2)	後期高齢者集団健診実施地区の拡大等により健診受診率を向上させるなど高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取組を強化し、疾病予防、重症化予防及び介護予防の切れ目ない支援により高齢者の心身機能低下の抑制を推進します。
(3)	事業対象者、要支援認定者に通所及び訪問サービスを提供することにより、介護予防、重度化防止を推進し、在宅生活の継続を目指します。
(4)	社会参加及び認知症やフレイルの予防につながるよう、生きがいの場の提供、安全に生活できる環境の確保を行います。新規事業として、65歳以上で聴覚障害の身体障害者手帳を交付されていない非課税世帯の方の補聴器購入費用の一部を補助します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	地域介護予防活動支援事業	長寿支援課	4,125	
(1)	商業活性化総合支援事業	商業観光課	54,772	基本目標5小戦略④ 基本目標6小戦略④
(1)(2)	一般介護予防事業	長寿支援課	2,540	
(2)	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業	保健課	36,411	
(2)	高齢者健康づくり事業	保健課	9,808	
(2)(3)	介護予防・生活支援サービス事業	長寿支援課	306,991	
(4)	在宅生活支援事業	長寿支援課	10,414	
		計	425,061	

小戦略 ⑥	地域における高齢者の支援体制の整備
(1)	日常生活圏域全てに地域包括支援センター設置を目指し、7つ目の地域包括支援センターを新規開設するとともに、日常生活圏域全てに設置したセンターが、医療、介護等の関係機関と連携して高齢者の地域包括ケアを推進します。
(2)	生活支援コーディネーターが、地域の実情に応じて「通いの場」の支援や介護予防の体制整備を推進するとともに、高齢者が活躍する地域づくりに取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	基幹・地域包括支援センター運営事業	長寿支援課	173,167	基本目標6小戦略②
		計	173,167	

小戦略 ⑦ 地域医療への支援

- (1) 飯伊医療圏の医療体制の調整を担う飯伊地区包括医療協議会の運営を支援し、地域の医師確保や救急医療体制を維持します。
- (2) 飯伊医療圏の休日・夜間の医療体制について、飯田市休日夜間急患診療所を運営するとともに、在宅当番医制・病院群輪番制により診療体制を確保します。
- (3) 千代・三穂・上村・南信濃の各診療所及び上村歯科診療所を運営することにより、地域における医療提供体制を維持継続します。
- (4) 予防接種対象者のうち、希望する方に接種を実施するとともに、接種機会を安定的に確保するため、対象者に対する接種勧奨と制度周知を行います。
- (5) 地域の医療機関と市立病院との密接な連携により、地域医療体制を維持します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	保健衛生推進事業	保健課	4,798	
(2)	地域医療支援事業	保健課	101,960	
(3)	診療所運営事業	保健課	89,574	
(3)	国民健康保険直営診療所運営事業	保健課	39,900	
(4)	予防接種事業	保健課	342,037	
(5)	市立病院運営事業	市立病院事務局 経営企画課	17,548,100	基本目標3小戦略②
		計	18,126,369	

小戦略 ⑧ 介護人材確保に向けた支援

- (1) 事業所における新たな職員の確保や離職防止に寄与できるよう、就労環境の改善や職員確保につながる補助、雇用につながる機会の創出等、側面的支援に取り組みます。
- (2) 有資格者の確保が困難であることを背景に、資格を有しない介護助手や外国人の雇用促進につながる機会を提供します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	介護人材確保対策事業	長寿支援課	6,716	
		計	6,716	

参考 デジタル技術を活用する事務事業（再掲）

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	備考
①(2)	避難行動要支援者支援事業	福祉課	
③(1)	障害福祉推進事業	福祉課	
④(1)	市民の健康づくり事業	保健課	
⑤(1)	地域介護予防活動支援事業	長寿支援課	
⑦(5)	市立病院運営事業	市立病院事務局 経営企画課	

基本目標 7

リニア・三遠南信道時代に向けた まちの基盤をつくる

関係するSDGs



戦略（考え方）

- ◆ リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通を見据えた土地利用や景観のあり方を全市の視点を検討を行うため、まずはリニア駅周辺及びその近郊における喫緊の課題から検討、見直しに取り組みます。
- ◆ リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かすため、関連道路等の整備による広域的道路ネットワークの強化を図るとともに、リニア開業の遅延に関わらず選ばれ訪れたいような地域の形成を目指した拠点間道路ネットワークの整備を推進します。
- ◆ リニア駅前広場の賑わいをつくり、一部供用に向けて運営方法の検討を行うなど段階的な活用を目指し、関係機関との調整を図ります。また、関係者等の意向や環境影響に十分配慮しながらグリーンインフラの考え方を取り入れ、自然と調和した利便性の高いリニア駅前広場の整備を進めます。
- ◆ リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通に向けた機運醸成を図るため、市民への適時適切な情報を発信します。
- ◆ 次世代モビリティやデジタル技術を活用し、目的地へ円滑にいざなうことができるリニアからの二次交通の検討を進めるとともに、路線ごとの利用特性やニーズの把握を行い利用者が使いやすい持続可能な地域公共交通の構築に取り組みます。

進捗状況を確認するための指標、重要業績を評価するための指標

指標（単位）	基準値 （令和6年）	進捗状況			目標値 （令和10年）
		令和7年	令和8年	令和9年	
① リニア駅前広場整備の整備率（整備可能部分）（％）	21				100
② 座光寺SIC関連道路の整備率（％）	88				100
③ 公共交通利用者数（人）	310,887				288,000
④ 住民へのリニア中央新幹線に関する情報発信回数（説明会・広報等）（回）	42				45

小戦略（具体的な取組）及び戦略的事務事業

小戦略 ① リニア・三遠南信道時代を見据えた各種土地利用計画の見直し

- (1) 土地利用基本方針に掲げる拠点集約連携型都市構造の推進と、山・里・街の豊かで多様な暮らしの実現に向けて、適正な土地利用や景観の誘導策の検討に取り組みます。また、「リニアの整備効果を地域振興に活かすビジョン（案）」の見直しに併せて、このビジョンをより分かりやすくするため、リニア時代のまちの姿として「まちの設計図」を示します。

小戦略 （番号）	事務事業名	主管課	当初予算 （千円）	備考
(1)	都市計画推進事業	地域計画課	8,106	
(1)	土地利用計画推進事業	地域計画課	1,743	
(1)	リニア駅周辺整備事業	リニア整備課	1,595,144	基本目標7小戦略②③④
		計	1,604,993	

小戦略 ②		広域的道路ネットワークの強化及び拠点間道路ネットワークの整備推進		
(1) 市全域及び南信州地域全体の広域的道路ネットワークの強化の観点から、三遠南信自動車道をはじめとする国道や県道の早期整備に向けた要望活動を同盟会等を通じて推進します。 (2) リニア開業や三遠南信道開通を見据えた観光、産業立地選択や居住地選択において選ばれ訪れたいような地域の形成を目指し、拠点間の道路ネットワーク及びリニア駅・座光寺S I C周辺の道路整備を推進します。				
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	道路事業促進同盟会参画事業	国県関連事業課	3,946	基本目標7小戦略④
(2)	国県関連事業	国県関連事業課	170,060	
(2)	道路ネットワーク整備事業	土木課	875,331	
(2)	リニア関連道路整備事業	国県関連事業課	48,204	
(2)	リニア推進事業	リニア推進課	157,922	基本目標7小戦略③④
(2)	リニア駅周辺整備事業	リニア整備課	1,595,144	基本目標7小戦略①③④
		計	2,850,607	
小戦略 ③		リニア駅前広場の一部供用に向けた整備推進		
(1) リニア駅前広場の実施設計の状況を踏まえながら、地権者等をはじめとする地元地域住民に対し環境への影響等に最大限配慮し、関係地区及び関係機関と協議調整を行い、整備できる部分の整備を進め、一部供用を目指し事業を進めます。 (2) リニア駅前広場の効果的な活用に向け、関連自治体の意向、民間等多くの関係者の考えや知見等を反映・活用しながら、リニア開業までの活用方法や維持管理等も含め検討し、一部活用を目指します。また、リニア開業に向けた「交通・エネルギー」、「駅前空間整備」、「魅力発信」等の分野でも具体的な機能の実装に向けた検討を行います。				
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	リニア駅周辺整備事業	リニア整備課	1,595,144	基本目標7小戦略①②④
(1)	リニア用地取得事業	リニア用地課	138,901	
(1)	リニア推進事業	リニア推進課	157,922	基本目標7小戦略②④
		計	1,891,967	
小戦略 ④		リニア・三遠南信道に対する機運醸成を図るための市民への情報発信		
(1) 事業の進捗状況や計画の内容について適時的確に多様な手法で情報発信を行い、機運醸成を図ります。				
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	リニア推進事業	リニア推進課	157,922	基本目標7小戦略②③
(1)	リニア駅周辺整備事業	リニア整備課	1,595,144	基本目標7小戦略①②③
(1)	道路事業促進同盟会参画事業	国県関連事業課	3,946	基本目標7小戦略②
		計	1,757,012	

小戦略 ⑤	持続可能な地域公共交通の構築と次世代モビリティやリニア二次交通の検討
(1)	住民の日常生活に欠かせない移動手段である地域公共交通の利用者確保に向け、利用のニーズを把握し交通事業者と協議を行いながら利便性向上のための改善に取り組みます。
(2)	次世代モビリティとして最も実現の可能性が高い自動運転技術について、リニア二次交通、地域公共交通への実装を見据え、引き続き関係者と連携して検討を進めます。
(3)	リニア駅への往来者にとって利便性が高い二次交通の実現に取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	交通体系整備事業	リニア推進課	234,854	
		計	234,854	

参考 デジタル技術を活用する事務事業（再掲）

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	備考
③ (1) (2)	リニア駅周辺整備事業	リニア整備課	